

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施策	①「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備
			施策の小項目名	○危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供
主な取組	市町村における観光危機管理計画策定支援		対応する成果指標	観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合
施策の方向	・観光客の安全・安心を確保するため、様々な観光関連リスクを想定した危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供について、市町村と連携して取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
市町村における観光危機管理計画策定に向けた勉強会、観光危機管理対応訓練等を実施する。	県,市町村	観光危機管理計画の策定に向けた市町村勉強会の開催、観光危機管理対応訓練の実施		
		観光危機管理計画策定市町村数(累計)		
		3市町村(15市町村)	5市町村(20市町村)	5市町村(25市町村)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	<a href="https://tcm.ocvb.or.jp">https://tcm.ocvb.or.jp</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	観光危機管理体制構築支援事業			予算事業名	観光危機管理体制構築支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	124,496	20,203	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	25,859
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
観光危機管理計画に関するオンライン勉強会、市町村の計画策定を支援するための専門家派遣、図上訓練の開催等により、市町村計画策定支援を行った。				観光危機管理計画の策定に向けた市町村勉強会を開催し、観光危機管理対応訓練を実施する。		

活動指標名	観光危機管理計画策定市町村数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		1市町村 (12市町村)	4市町村 (12市町村)	1市町村 (17市町村)	3市町村 (15市町村)	33.3%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値(累計)を超える市町村が観光危機管理計画の策定に至っている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
観光危機管理計画が未策定の市町村については、未策定の理由や今後の策定の意向等を把握することにより、それぞれの市町村に合った策定支援の実施を図る必要がある。	各市町村に対して、観光危機管理計画の策定状況等に関するアンケート調査を実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	観光産業が盛んでない市町村については、観光危機管理計画の必要性や、観光危機の想定が困難であるとの意見もあり、観光危機管理に関する機運醸成を高めていく必要がある。	② 連携の強化・改善	引き続き勉強会や専門家派遣、アンケート調査等を実施し、観光危機管理計画未策定の市町村に対する機運醸成・策定支援に務めていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施策	①「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備
			施策の小項目名	○危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供
主な取組	観光関連団体との観光危機管理・対応に関する協定の締結		対応する成果指標	観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合
施策の方向	・観光客の安全・安心を確保するため、様々な観光関連リスクを想定した危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供について、市町村と連携して取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
観光関連団体との協定を締結するとともに、観光関連団体へのセミナーや観光危機管理対応訓練等を開催する。	県,観光関連団体	観光関連団体との協定締結、観光関連団体へのセミナー等の開催、観光危機管理対応訓練の実施		
		観光関連団体との観光危機管理・対応に関する協定締結数(累計)		
		1団体	1団体(2団体)	1団体(3団体)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	<a href="https://tcm.ocvb.or.jp">https://tcm.ocvb.or.jp</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	観光危機管理体制構築支援事業			予算事業名	観光危機管理体制構築支援事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
一括交付金 (ソフト)	委託	124,496	20,203	主な財源	実施方法	当初予算額	
				一括交付金 (ソフト)	委託	25,859	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
観光危機管理体制運用図上訓練を実施し、観光危機発生時における課題等について、観光関連団体も一体となって洗い出しを行った。				観光関連団体との協定締結、観光関連団体へのセミナー等の開催、観光危機管理対応訓練の開催			
活動指標名	観光関連団体との観光危機管理・対応に関する協定締結数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	-	-	0団体	1団体	0.0%	大幅遅れ	観光危機管理体制運用図上訓練を実施し、そこで得られた課題等をもとに、観光関連団体を含めて協定締結の必要性、内容等について検討を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
観光関連団体を含めて協定締結の必要性、内容等について検討を行っているものの、具体的な協定の締結には至っていない。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
観光危機管理体制運用図上訓練を実施し、実際の観光危機発生時にどのような課題等が出てくるのかを具体的に想定した上で、必要な協定を整理する必要がある。	各参加機関それぞれの役割・課題等を認識した上で訓練に臨んでもらうため、事前に訓練シナリオの配布や説明会を実施した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	観光危機発生を想定した協定の締結に関しては、その必要性・内容等を観光関連団体との協議を踏まえた上で慎重かつ丁寧に進めていく必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	引き続き観光危機管理対応訓練の実施や観光関連団体との協議等を実施し、実効性のある協定の締結を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施策	①「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備
			施策の小項目名	○危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供
主な取組	ICTを活用した観光危機情報の収集・発信		対応する成果指標	観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合
施策の方向	・観光客の安全・安心を確保するため、様々な観光関連リスクを想定した危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供について、市町村と連携して取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県・市町村の情報共有のためのコミュニケーションツールを導入する。	県,市町村,観光関連団体	県・市町村の情報共有のためのコミュニケーションツールの導入		
		コミュニケーションツールへの参加市町村数(累計)		
		20市町村	5市町村(25市町村)	5市町村(30市町村)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	<a href="https://tcm.ocvb.or.jp">https://tcm.ocvb.or.jp</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	観光危機管理体制構築支援事業			予算事業名	観光危機管理体制構築支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	124,496	20,203	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	25,859
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
コミュニケーションツールとして県において「LoGoチャット」の導入を行った。				「LoGoチャット」を活用した情報収集・発信について、観光危機運用訓練にて実際に使用することにより、運用上の課題等を洗い出す。		

活動指標名	コミュニケーションツールへの参加市町村数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-	-	0市町村	20市町村	0.0%	大幅遅れ	LoGoチャットの運用ルールの作成等に時間を要しており、市町村と連携までできなかった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

導入に向けた手続き等は完了しているものの、ツール接続先となる市町村との調整に時間を要し、運用には至っていないことから、大幅遅れとなった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
コミュニケーションツールの導入を進める必要があった。	県において「LoGoチャット」の導入を行った。



様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	実災害の発生を想定し、市町村等との効果的な運用を行って行く必要がある。	② 連携の強化・改善	コミュニケーションツール導入に向けて、観光危機運用訓練にて実際に使用することにより、運用上の課題等を洗い出していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施策	①「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備
			施策の小項目名	○危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供
主な取組	外国人観光客の傷病時等における多言語対応		対応する成果指標	観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合
施策の方向	・観光客の安全・安心を確保するため、様々な観光関連リスクを想定した危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供について、市町村と連携して取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
インバウンド対応医療通訳コールセンターの運営を行うとともに、インバウンド傷病者対応についてのセミナーを開催する。	県	医療機関における電話等遠隔通訳のためのコールセンターの設置		
		コールセンターの応答率		
		90.0%	90.0%	90.0%
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	インバウンド医療受入体制整備事業			予算事業名	インバウンド医療受入体制整備事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	33,726	25,291	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	27,822
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
インバウンド対応医療通訳コールセンターの運営と併せて、インバウンド傷病者対応についての観光事業者向けセミナーを開催した。				インバウンド対応医療通訳コールセンターの運営と併せて、インバウンド傷病者対応についての観光事業者及び医療事業者向けセミナーを開催する。		

活動指標名	コールセンターの応答率		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		-%	99%	99%	90.0%	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

コールセンター総入電数1,336件中、応答件数1,326件で応答率99%となった。アンケート結果では、コールセンター利用者の83.2%が「コールセンターのサービスが外国人対応に有用であった」と回答した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	アクセシビリティ向上のため、電話番号を持たない外国人観光客でも、インターネット接続端末からURLや二次元バーコードからコールセンターへアクセス可能となった。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県内の医療事業者に本事業をより活用してもらうため、本事業の周知を行う必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	県内の医療事業者向けに、本事業の活用例やインバウンド傷病者対応の実例を紹介するセミナーを開催する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施策	①「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備
			施策の小項目名	○空港・港湾におけるCIQの迅速化等
主な取組	CIQの常設化及び運営体制の強化		対応する成果指標	観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合
施策の方向	・空港・港湾においては、多数の外国人旅行者等が同時に入域するスムーズでストレスのない玄関口として、CIQの迅速化等に取り組みます。各種感染症の侵入防止のための検疫・防疫体制及びセキュリティ対策の重点的強化に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
CIQ常設に向けた検疫指定を目指すためにターミナルビル社と連携して国際線就航に備えた働きかけを検疫所へ行っていく。	国,県,民間事業者等	空港の検疫指定に向けた関係機関との調整及び要請		
		国への要請回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
-	-			-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>検疫所に対しチャーター便の運航に伴う検疫業務への協力を依頼し、新石垣空港での国際線チャーター機の運航に伴う確認書の締結を行った。</p>				<p>新石垣空港・下地島空港において国際線の円滑な再開のための備えとして、まずはプライベートジェット機の乗入れ等に対する検疫業務の協力を依頼する。</p>		

活動指標名	国への要請回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-	-	1回	1回	100.0%	順調	令和5年1月に那覇検疫所石垣出張所に対しチャーター便の運航に伴う検疫業務への協力依頼し、同年2月に確認書の締結を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和5年1月に那覇検疫所石垣出張所へ検疫業務への協力を依頼し、同年2月に確認書の締結を行ったことで、新石垣島空港において、令和5年2月に2度の台湾からの国際線チャーター便の運航を行うことができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	<p>検疫所に対しチャーター便の運航に伴う検疫業務への協力を依頼し、新石垣島空港での国際チャーター機の運航に伴う確認書の締結を行った。</p>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	航空需要低下の要因であった新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴い航空需要はコロナ前の状態に戻りつつある。	② 連携の強化・改善	国際線就航のためには検疫所、ターミナル会社との連携・協力は必要不可欠であり、チャーター機の運航がある度に検疫業務の協力を依頼する。検疫指定に向けて実績を積み重ねていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施策	①「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備
			施策の小項目名	○空港・港湾におけるCIQの迅速化等
主な取組	本部港のクルーズ船における入国環境の整備		対応する成果指標	観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合
施策の方向	・空港・港湾においては、多数の外国人旅行者等が同時に入域するスムーズでストレスのない玄関口として、CIQの迅速化等に取り組みます。各種感染症の侵入防止のための検疫・防疫体制及びセキュリティ対策の重点的強化に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本部港は、国より港湾法に基づく国際旅客拠点形成港湾に指定されている。官民連携により国際旅客船の受入体制を整備し、スムーズでストレスのない玄関口として、CIQ体制の強化を図る。	国,県,民間事業者等	非検疫港である本部港におけるクルーズ船寄港に関するファーストポート対応に向けた関係機関との調整		
		本部港のファーストポート対応		
		関係機関調整	関係機関調整	ファーストポート化
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—



様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
—	—	—	—	主な財源	実施方法	当初予算額
—	—	—	—	—	—	—
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>コロナ禍で休止していた国際クルーズ船の受入再開に向け、C I Q関係機関との連携も含む受入体制の構築を目的にクルーズ船受入協議会を開催した。</p>				<p>国際クルーズ船の実績を積むため、令和6年度に予定されている本部港における国際クルーズ船受入に向け、関係機関と調整を行う。</p>		

活動指標名	本部港のファーストポート対応		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	—	関係機関調整	関係機関調整	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

北部圏域の受入体制構築を図ることを目的としたクルーズ船受入協議会を開催し、関係機関協議を行っているため、順調とした。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	<p>・国際クルーズ船の受入再開に向けて、C I Q関係機関との連絡体制構築等連携を図るため、受入協議会にC I Q関係機関を加えて協議を行った。</p>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、大型クルーズ船の寄港が回復傾向にある。	② 連携の強化・改善	新型コロナの影響により休止していた本部港への大型クルーズ船の寄港を令和4年度に再開。令和6年度は大規模な大型国際クルーズ船の寄港予定もあり、C I Q体制強化に向け関係機関との連携強化を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施策	②快適で魅力ある観光まちづくりの推進
			施策の小項目名	○国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりの推進
主な取組	地域観光の支援		対応する成果指標	リピーター率
施策の方向	<p>・沖縄らしい風景の保全や創出、憩いの場やレクリエーション施設の整備に加え、空港、港湾の緑化、良好な沿道景観の形成など、観光地としての受入品質を単なる「安全・安心」だけではない「快適」なレベルまで高め、誰もがリラックスして楽しめる国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりに市町村、観光協会、観光関連団体と連携して取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>県内各地域の観光振興を図るため、離島観光振興会議等による各市町村との意見交換を行い、地域の観光振興の方向性及び課題を共有する。 また、専門的な知識を持つ観光まちづくりアドバイザーを市町村等へ派遣し、市町村等が抱える課題等に対し助言及び指導を行う。</p>	県	市町村、観光協会、観光関連団体との意見交換		
		市町村、観光協会、観光関連団体との意見交換件数(累計)		
		20件	22件(42件)	25件(67件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	地域観光支援事業			予算事業名	地域観光支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	528	2,027	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	2,411
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
離島観光振興会議や県内市町村等と意見交換会を行い、課題の共有を図った。また、市町村等が抱える課題に対し、アドバイザーを8回派遣した。				離島観光振興会議や県内市町村等と意見交換会を行い、課題の共有を図る。また、市町村等が抱える課題に対しアドバイザーを派遣し解決の支援を行う。		

活動指標名	市町村、観光協会、観光関連団体との意見交換件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		16件	18件	26件	20件	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

離島観光振興会議をオンライン参加も可能としたため、多くの市町村が参加することができ「順調」となった。離島振興会議不参加の八重山圏域市町村とは、個別に開催したフォローアップセミナーにて意見交換を実施した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
観光まちづくりアドバイザー派遣については、早い段階で市町村や観光協会等に通知し、県ホームページ等でも積極的な周知を行う。	離島振興会議で観光まちづくりアドバイザー派遣等の県施策の周知を行った。アドバイザー派遣団体は計3団体となり、前年より2団体増加した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	観光まちづくりアドバイザー派遣について、より柔軟にアドバイザーを派遣することが求められている。	① 執行体制の改善	沖縄県観光まちづくりアドバイザー派遣要綱を改正し、各自治体が利用しやすい制度設計を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施策	②快適で魅力ある観光まちづくりの推進
			施策の小項目名	○国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりの推進
主な取組	観光案内所運営事業		対応する成果指標	リピーター率
施策の方向	<p>・沖縄らしい風景の保全や創出、憩いの場やレクリエーション施設の整備に加え、空港、港湾の緑化、良好な沿道景観の形成など、観光地としての受入品質を単なる「安全・安心」だけではない「快適」なレベルまで高め、誰もがリラックスして楽しめる国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりに市町村、観光協会、観光関連団体と連携して取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
那覇空港国内線・国際線観光案内所及び沖縄観光情報センターにおいて、交通情報や地域の観光情報等のきめ細かな観光案内サービスを多言語で提供し、観光客の満足度の向上やリピーターの増加を図る。	県	観光案内所の継続的な運営		
		観光案内所の運営		
		運営	運営	運営
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 観光案内所運営事業				予算事業名 観光案内所運営事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	71,321	78,840	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	100,452
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
那覇空港国内線・国際線観光案内所及び沖縄観光情報センターにおいて交通情報や地域の観光情報等の案内サービスを提供した。				那覇空港国内線・国際線観光案内所及び沖縄観光情報センターにおいて、交通情報や地域の観光情報等の案内サービスを多言語で提供する。		

活動指標名	観光案内所の運営		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		那覇空港国内線・国際線観光案内所及び沖縄観光情報センターにおいて、交通情報や地域の観光情報等のきめ細かな観光案内サービスを多言語で提供した。
		運営	運営	運営	運営	100.0%	

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>那覇空港国内線観光案内所60,622名（前年度比46.6%増）、国際線観光案内所9,323名（前年度閉所）、沖縄観光情報センター17,124名（前年度比43.4%増）の計87,069名の来訪者に対し、交通情報や地域の観光情報の案内を実施した。利用者へのアンケート調査では、観光案内所を利用した満足度について「満足」「やや満足」の割合が96.6%となり、一定数の評価を得た。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	<p>那覇空港国際線の路線再開に伴い、国際線観光案内所も2年6ヶ月ぶりに運営を再開した。外国人観光客が那覇空港到着後、第一目的地までスムーズに移動できるよう、最適な交通手段や観光情報の提供を実施した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	<p>コロナ禍でバスの路線や、施設営業時間、利用料金等の変更が生じているが、HP等が正しく更新されておらず、観光客が誤った情報を持っている場合がある。</p>
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	<p>レンタカーやタクシー不足により、大きな荷物を持つ外国人観光客がモノレールやバスを乗り継いで移動しなければならず、観光客の想定よりも移動時間・労力がかかる場合がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	<p>バス協会や観光施設、OCVB等と連携し、より正確な観光情報の整備・発信を行い観光客への案内を実施。設置している観光情報パンフレットは、作成元へ情報の更新を働きかけ最新情報を提供する。</p>
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	<p>目的地までの距離や所要時間を移動手段別に正確に案内し、観光客のニーズに合わせた情報を提供する。</p>



様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施策	②快適で魅力ある観光まちづくりの推進
			施策の小項目名	○国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりの推進
主な取組	Be. Okinawa多言語コンタクトセンター		対応する成果指標	リピーター率
施策の方向	<p>・沖縄らしい風景の保全や創出、憩いの場やレクリエーション施設の整備に加え、空港、港湾の緑化、良好な沿道景観の形成など、観光地としての受入品質を単なる「安全・安心」だけではない「快適」なレベルまで高め、誰もがリラックスして楽しめる国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりに市町村、観光協会、観光関連団体と連携して取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
Be.Okinawa多言語コンタクトセンターを設置し、多言語による観光案内・通訳サービス・災害時の対応サポート等を実施する。	県	観光客の利便性向上を図り、ロイヤルカスタマーへと繋げるAIチャットボットの運営		
		多言語コンタクトセンターの運営		
		運営	運営	運営
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	<a href="https://www.okinawa-mcc.jp/">https://www.okinawa-mcc.jp/</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	Be. Okinawa多言語コンタクトセンター運営事業			予算事業名	Be. Okinawa多言語コンタクトセンター運営事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	42,718	30,132	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	40,500
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
多言語コンタクトセンターを運営し、電話・SNS・チャットボット等による外国人観光客に対する通訳サポートを行った。				多言語コンタクトセンターを運営し、電話・SNS・チャットボット等による外国人観光客に対する通訳サポートを行う。		

活動指標名	多言語コンタクトセンターの運営		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		運営	運営	運営	運営	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

多言語コンタクトセンター利用者に対しヒヤリングを実施した結果、コンタクトセンターの利用に「満足した」と回答した割合が80%であり、ほとんどの利用者から好評を得た。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
無人対応が可能なチャットボットツールの対応能力の向上を図る。	チャットボットツールが自動学習することにより、問い合わせの多い質問等をFAQ形式で掲載した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	新型コロナウイルス感染症の影響による外国人観光客の大幅な減少に伴い、コロナ禍前の利用件数と大きく乖離が生じている。	⑧ その他	外国人観光客の回復を見据え、引き続き多言語コンタクトセンターの運営を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施策	②快適で魅力ある観光まちづくりの推進
			施策の小項目名	○県民一人ひとりのホスピタリティ意識を高める運動の推進
主な取組	県民意識の啓発		対応する成果指標	リピーター率
施策の方向	・観光客を受け入れる県民一人ひとりのホスピタリティ意識を高める運動を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県民の観光・コンベンション意識の高揚を図り、県民一丸となった受入体制づくりを推進するため、かりゆしウェアの着用促進やクリーンアップ活動の推進等を行う。	県	県民啓発プロモーションの実施		
		Web、SNS等の各種メディアを活用した県民啓発プロモーションの実施件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 沖縄観光受入対策事業				予算事業名 沖縄観光受入対策事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	28,899	26,986	県単等	委託	2
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
Web、SNS等の各種メディアを活用した県民啓発プロモーションを実施した。				Web、SNS等の各種メディアを活用した県民啓発プロモーションを実施する。		

活動指標名	Web、SNS等の各種メディアを活用した県民啓発プロモーションの実施件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	4件	1件	100.0%	順調	県民の観光産業に対する理解及び関心を深めるとともに、観光客受入気運の醸成を図るため、Web、SNS等の各種メディアを活用した県民啓発プロモーションを実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>目標値1件に対し、実績4件だったため、順調と判定する。また、プロモーションの実施により県民の観光産業に対する理解及び関心を深めるとともに、観光客受入気運の醸成を図り、観光客の満足度向上を目指す。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>アフターコロナを見据えた県民、観光客が求める観光客受入体制の整備、気運醸成に留意した取組を実施する。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長期化する中において、コロナ禍における観光客受入機運の醸成について、観光月間・観光の日のPR内容の変更により受入機運の維持・醸成を図った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	プロモーション実施後の効果測定において、有効な取組と有効でない取組があった。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	アフターコロナを見据えた県民、観光客が求める観光客受入体制の整備、気運醸成に留意した取組を実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施策	③多様な受入環境の整備
			施策の小項目名	○世界水準の観光地としての受入環境整備
主な取組	ユニバーサルツーリズムの推進		対応する成果指標	心のバリアフリー認定件数(累計) LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合
施策の方向	<p>・本県は、平成19年2月に国内初となる「観光バリアフリー宣言」を打ち出し、「誰もが楽しめる、やさしい観光地」をコンセプトとする各種の取組を実施しています。「誰もが楽しめる、やさしい観光地」づくりを更に強化・発展させるため、障害者への的確な対応を含め、「観光困難者」を体系的に把握し、誰もが気兼ねなく参加できるユニバーサルツーリズムを推進するなど、世界水準の観光地としての受入環境整備に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>沖縄を訪れるすべての観光客が、年齢や性別、障がいの有無等に関わらず沖縄を楽しめるように、観光関連事業者等による多種多様な受入環境整備を促進する。</p>	<p>県</p>	観光事業者向けアドバイザー派遣の実施		
		アドバイザー派遣件数(累計)		
		5件	6件(11件)	7件(18件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業			予算事業名	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	22,022	17,693	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	21,891
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
観光関連事業者を対象としたセミナー開催やアドバイザー派遣を実施するとともに、沖縄ユニバーサルツーリズムに関する情報発信等を行った。				観光関連事業者を対象としたセミナー開催やアドバイザー派遣を実施するとともに、沖縄ユニバーサルツーリズムに関する情報発信等を行う。		

活動指標名	アドバイザー派遣件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		10件	7件	8件	5件	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ハイブリッド開催とすることで、参加する観光事業者の実質的な負担を減らし、多くの事業者の受入環境整備に寄与した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
高齢者や障害者をはじめとした特性に応じた接遇の講習等、受入体制の強化を図る。	高齢者及び障害者の受入環境整備にかかる講義を実施する他、「心のバリアフリー」認定制度にかかる周知等を行った。



様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	ユニバーサルツーリズムの主な対象となる高齢者、障害者の割合は国内総人口の3割以上を占めており、今後もさらに増えていくことが想定されている。	⑥ 変化に対応した取組の改善	ユニバーサルツーリズムの対象者は今後も増加が見込まれることから、引き続き、観光関連事業者の受入体制強化を図る。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	障害者、高齢者の受入環境整備に加え、年齢や性別に関わらず、誰もが気兼ねなく参加できるユニバーサルツーリズムを推進していくことが重要である。	⑥ 変化に対応した取組の改善	LGBTQ等性的マイノリティーの方の受入体制強化を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施策	③多様な受入環境の整備
			施策の小項目名	○世界水準の観光地としての受入環境整備
主な取組	観光客向けの情報発信の強化		対応する成果指標	心のバリアフリー認定件数(累計) LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合
施策の方向	<p>・本県は、平成19年2月に国内初となる「観光バリアフリー宣言」を打ち出し、「誰もが楽しめる、やさしい観光地」をコンセプトとする各種の取組を実施しています。「誰もが楽しめる、やさしい観光地」づくりを更に強化・発展させるため、障害者への的確な対応を含め、「観光困難者」を体系的に把握し、誰もが気兼ねなく参加できるユニバーサルツーリズムを推進するなど、世界水準の観光地としての受入環境整備に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>沖縄を訪れるすべての観光客が、年齢や性別、障がいの有無等に関わらず沖縄を楽しめるように、観光関連事業者等による多種多様な受入環境整備を促進する。</p>	<p>県</p>	Webサイトや展示会等を活用した情報発信		
		情報発信件数(累計)		
		2件	2件(4件)	2件(6件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業			予算事業名	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	22,022	17,693	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	21,891
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
観光関連事業者を対象としたセミナー開催やアドバイザー派遣を実施するとともに、沖縄ユニバーサルツーリズムに関する情報発信等を行った。				観光関連事業者を対象としたセミナー開催やアドバイザー派遣を実施するとともに、沖縄ユニバーサルツーリズムに関する情報発信等を行う。		

活動指標名	情報発信件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	2件	3件	3件	2件	100.0%	順調	おきなわユニバーサルツーリズムの認知度向上を図るため、展示会出展、WEBサイト等による情報発信、PR動画作成を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

①展示会出展、②WEBサイト等による情報発信、③PR動画作成を行い目標を達成した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
インフルエンサーの招聘やWEB媒体の活用、沖縄の魅力を発信する動画の活用など、来訪意欲を高めるプロモーションを実施する。	展示会への出展やWEBサイトによる情報発信に加え、初めてLGBTQ受入にかかる動画作成を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	ユニバーサルツーリズムの主な対象となる高齢者、障害者の割合は国内総人口の3割以上を占めており、今後もさらに増えていくことが想定されている。	⑥ 変化に対応した取組の改善	ユニバーサルツーリズムの対象者は今後も増加が見込まれることから、引き続き、観光関連事業者の受入体制強化を図る。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	障害者、高齢者の受入環境整備に加え、年齢や性別に関わらず、誰もが気兼ねなく参加できるユニバーサルツーリズムを推進していくことが重要である。	⑥ 変化に対応した取組の改善	LGBTQ等性的マイノリティーの方の受入体制強化を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施策	③多様な受入環境の整備
			施策の小項目名	○質の高いサービスの提供
主な取組	ユニバーサルデザインの推進		対応する成果指標	心のバリアフリー認定件数（累計） LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合
施策の方向	・観光産業の高付加価値化に結び付く、障害の特性と多種多様なニーズに応じた受入環境、組織体制等の多面的な条件整備や、県民のホスピタリティを高めることによる質の高いサービスの提供に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄を訪れるすべての観光客が、年齢や性別、障がいの有無等に関わらず沖縄を楽しめるように、観光関連事業者等による多種多様な受入環境整備を促進する。	県	ユニバーサルツーリズム推進に係る取組状況調査の実施		
		調査の実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業			予算事業名	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
一括交付金 (ソフト)	委託	22,022	17,693	主な財源	実施方法	当初予算額	
				一括交付金 (ソフト)	委託	21,891	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
観光関連事業者を対象としたセミナー開催やアドバイザー派遣を実施するとともに、沖縄ユニバーサルツーリズムに関する情報発信等を行った。				観光関連事業者を対象としたセミナー開催やアドバイザー派遣を実施するとともに、沖縄ユニバーサルツーリズムに関する情報発信等を行う。			
活動指標名	調査の実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	1回	1回	1回	100.0%	順調	観光関連事業者におけるユニバーサルツーリズムに係る取組状況を把握するため、調査を実施した。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
宿泊事業者、観光施設事業者、交通事業者等を対象に取組状況調査を実施した。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和4年度の取組改善案				反映状況			
—				観光事業者の人手不足等の事情により、調査回収率が芳しくなかったことから、各業界団体を通じたフォローを行うとともに、調査期間を延長し対応した。			

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	観光需要の回復に伴い、業界の人手不足が課題となっている中、調査の実施が事業者の負担となる可能性がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	調査の実施に際しては、事業者の負担とならないよう調査手法、回収方法を検討する必要がある。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施策	③多様な受入環境の整備
			施策の小項目名	○質の高いサービスの提供
主な取組	県民のホスピタリティ向上		対応する成果指標	心のバリアフリー認定件数（累計） LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合
施策の方向	・観光産業の高付加価値化に結び付く、障害の特性と多種多様なニーズに応じた受入環境、組織体制等の多面的な条件整備や、県民のホスピタリティを高めることによる質の高いサービスの提供に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄を訪れるすべての観光客が、年齢や性別、障がいの有無等に関わらず沖縄を楽しめるように、観光関連事業者等による多種多様な受入環境整備を促進する。	県	観光事業者向けセミナーの実施		
		観光事業者の参加者数(累計)		
		100人	110人(210人)	120人(330人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—



様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業			予算事業名	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	22,022	17,693	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	21,891
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
観光関連事業者を対象としたセミナー開催やアドバイザー派遣を実施するとともに、沖縄ユニバーサルツーリズムに関する情報発信等を行った。				観光関連事業者を対象としたセミナー開催やアドバイザー派遣を実施するとともに、沖縄ユニバーサルツーリズムに関する情報発信等を行う。		

活動指標名	観光事業者の参加者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		—	—	210人	100人	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ハイブリッド開催とすることで、参加する観光事業者の実質的な負担を減らし、多くの事業者の受入環境整備に寄与した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
高齢者や障害者をはじめとした特性に応じた接遇の講習等、受入体制の強化を図る。	高齢者及び障害者の受入環境整備にかかる講義を実施する他、「心のバリアフリー」認定制度にかかる周知等を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	ユニバーサルツーリズムの主な対象となる高齢者、障害者の割合は国内総人口の3割以上を占めており、今後もさらに増えていくことが想定されている。	⑥ 変化に対応した取組の改善	ユニバーサルツーリズムの対象者は今後も増加が見込まれることから、引き続き、観光関連事業者の受入体制強化を図る。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	障害者、高齢者の受入環境整備に加え、年齢や性別に関わらず、誰もが気兼ねなく参加できるユニバーサルツーリズムを推進していくことが重要である。	⑥ 変化に対応した取組の改善	LGBTQ等性的マイノリティーの方の受入体制強化を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-イ	SDGsに適応する観光ブランド力の強化	施策	①サステナブル・ツーリズムの推進
			施策の小項目名	○サステナブル(持続可能) / レスポンシブル(責任ある)・ツーリズムの推進
主な取組	沖縄観光に関する県民意識調査		対応する成果指標	持続可能な観光を推進するための取組が行われていると感じた観光客の割合
施策の方向	・地域社会、経済、環境の3つの側面において適切なバランスを長期的に維持し、各地域社会が受忍できる一定の量を求めながら、県民の幸福度や観光客の満足度など質の向上にも取り組むことにより、旅行者・観光客と地域・住民が価値を共有するサステナブル(持続可能) / レスポンシブル(責任ある)・ツーリズムの推進を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄観光に関する県民意識調査を実施し、持続可能な観光の推進に関わる活動をしている県民の割合や観光客のレスポンシブルツーリズムに対する県民意識などを調査する。	県	沖縄観光に関する県民意識調査の実施による施策の企画・立案の促進		
		沖縄観光に関する県民意識調査の実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光政策課 【 098-866-2763 】		関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/kikaku/report/quest/okinawatourism_resident_survey.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/kikaku/report/quest/okinawatourism_resident_survey.html</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	県民・観光客実態調査事業			予算事業名	県民・観光客実態調査事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託		23,743	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	56,364
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>サステナブル/レスポンシブル・ツーリズムの推進に関する 県民意識を把握するため、調査事業を委託した。</p>				<p>サステナブル/レスポンシブル・ツーリズムの推進に関する 県民意識を把握するため、調査事業を委託する。</p>		

活動指標名	沖縄観光に関する県民意識調査の 実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		1回	1回	1回	1回	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄観光に関する県民意識調査を実施できたことにより目標値を達成した。また、本調査の実施により、施策の企画・立案を促進した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	アンケート調査票の回収数向上に向けて、約2ヶ月間の回答期間を設けるとともに、回答者に商品券を配布する等の対応を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	アンケート調査票の回収数向上に向けた取組を引き続き実施する必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	アンケート調査票の回収数向上に向けて、回答期間を長めに設定するとともに、回答者へのインセンティブを設ける。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-イ	SDGsに適応する観光ブランド力の強化	施策	①サステナブル・ツーリズムの推進
			施策の小項目名	○サステナブル(持続可能) / レスポンシブル(責任ある)・ツーリズムの推進
主な取組	観光統計実態調査		対応する成果指標	持続可能な観光を推進するための取組が行われていると感じた観光客の割合
施策の方向	・地域社会、経済、環境の3つの側面において適切なバランスを長期的に維持し、各地域社会が受忍できる一定の量を求めながら、県民の幸福度や観光客の満足度など質の向上にも取り組むことにより、旅行者・観光客と地域・住民が価値を共有するサステナブル(持続可能) / レスポンシブル(責任ある)・ツーリズムの推進を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
観光統計実態調査を実施し、成果指標である「持続可能な観光を推進するための取組が行われていると感じた観光客の割合」を算出するとともに、旅行者の属性や旅行内容を調査する。	県	観光統計実態調査の実施による施策の企画・立案の促進		
		観光統計実態調査の実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光政策課 【 098-866-2763 】		関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/kikaku/report/quest/jittai_top.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/kikaku/report/quest/jittai_top.html</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	県民・観光客実態調査事業			予算事業名	県民・観光客実態調査事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託		23,743	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	56,364
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>サステナブル・ツーリズムの推進にて設定した数値目標の進捗状況を把握するため、調査事業を委託した。</p>				<p>サステナブル・ツーリズムの推進にて設定した数値目標の進捗状況を把握するため、調査事業を委託する。</p>		

活動指標名	観光統計実態調査の実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	1回	1回	1回	100.0%	順調	観光客へのアンケート調査を1回実施する。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

観光統計実態調査を実施できたことにより目標値を達成した。また、本調査の実施により、施策の企画・立案を促進した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	<p>観光統計実態調査に係るアンケート調査については、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により下半期しか調査を実施できなかったことから、通年で調査を実施できるよう各空港側と調整するとともに、充電設備にもアンケート調査票を設置するなど回収数の向上に努めた。</p>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	通年で調査を実施できるようアンケート調査票の設置場所である各空港側と早期に調整するとともに、回収数の向上に向けた取組を引き続き実施する必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	通年で調査を実施できるようアンケート調査票の設置場所である各空港側と早期に調整するとともに、アンケート調査票の設置箇所を増やすなど、回収数の向上に努める。



様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-イ	SDGsに適応する観光ブランド力の強化	施策	①サステナブル・ツーリズムの推進
			施策の小項目名	○サステナブル(持続可能) / レスポンシブル(責任ある)・ツーリズムの推進
主な取組	観光産業実態調査		対応する成果指標	持続可能な観光を推進するための取組が行われていると感じた観光客の割合
施策の方向	・地域社会、経済、環境の3つの側面において適切なバランスを長期的に維持し、各地域社会が受忍できる一定の量を求めながら、県民の幸福度や観光客の満足度など質の向上にも取り組むことにより、旅行者・観光客と地域・住民が価値を共有するサステナブル(持続可能) / レスポンシブル(責任ある)・ツーリズムの推進を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
観光関連事業者を対象としたアンケート調査等の実施により、観光産業の現状と課題を把握する。	県	観光産業実態調査の実施による施策の企画・立案の促進		
		観光産業の実態調査等の実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光政策課 【 098-866-2763 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	観光産業実態調査事業			予算事業名	観光産業実態調査事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	7,443	7,584	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	7,205
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
観光産業実態調査を実施し、観光関連事業者の実態について調査・分析を行った。				観光産業実態調査を実施し、観光関連事業者の実態について調査・分析を行う。		

活動指標名	観光産業の実態調査等の実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		1回	1回	1回	1回	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

計画のとおり観光産業実態調査を実施できたことにより施策の企画・立案を促進した。目標値を達成したため、順調と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>さらなる調査項目の簡素化を検討し、回答者の負担を減らすことで回答率向上を図る。</li> <li>回答者へのヒアリング調査回数を増やし、より具体的に現状を把握するよう努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート実施ごとに、設問を精査し回答しやすいよう工夫することで、回答者の負担を軽減し、回答率の向上に努めた。</li> <li>事業者へのヒアリングを実施し、現状の把握に努めた。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	アンケート調査においては、設問を工夫し回答負担の軽減を図るなど、一定の回答数を確保できるような取組を引き続き実施する必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	アンケート調査においては、設問の工夫を継続するとともに、WEB上での回答を拡充することで、一定の回答数を確保する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-イ	SDGsに適応する観光ブランド力の強化	施策	②持続可能な観光指標の設定と観光地マネジメント
			施策の小項目名	○持続可能な観光施策の推進
主な取組	沖縄観光推進ロードマップ実施事業		対応する成果指標	各市町村の観光基本計画において独自のKPIを設定した市町村数(累計)
施策の方向	<p>・国内外において「持続可能な観光」に関する取組が進められる中、各機関や各地域では「持続可能な観光指標 (Sustainable Tourism Indicator)」(以下「STI」)が開発されています。持続可能な観光を志向する観光客が増加していることから、観光における脱炭素化やSDGsに適応した観光地としてのブランド力の強化を図るため、国際基準のSTIを基に開発された「日本版持続可能な観光ガイドライン」(令和2年6月観光庁)を活用するほか、本県独自の成果指標の設定に取り組み、環境容量等を踏まえた持続可能な観光施策を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>沖縄観光推進ロードマップに基づき、成果指標を用いた施策効果の検証や、各施策に係る取組の進捗状況の確認などPDCAサイクルを実施するとともに、ロードマップの趣旨及び内容等について関係機関や観光事業者等に向け説明会等を実施する。</p>	県	第6次沖縄県観光振興基本計画の成果指標のモニタリング実施、市町村等への沖縄観光推進ロードマップ説明会の実施		
		圏域別説明会の実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光政策課 【 098-866-2763 】		関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/kikaku/report/policy/r4-roadmap.html">https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/kikaku/report/policy/r4-roadmap.html</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄観光推進ロードマップ実施事業			予算事業名	沖縄観光推進ロードマップ実施事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	7,205	7,931	県単等	委託	8,629
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年度は、関係機関や団体で構成する会議体での協議や市町村との意見交換を行い、「沖縄観光推進ロードマップ」を令和5年3月に策定した。				令和5年度は、施策効果の検証や取組の進捗状況の確認等PDCAサイクルを実施する。また、関係機関や観光事業者等に向け説明会等を実施する。		

活動指標名	圏域別説明会の実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	1回	1回	100.0%	順調	令和4年度は、関係行政機関や観光関連団体等で構成する会議において内容の検討や、市町村との意見交換を行い、「沖縄観光推進ロードマップ」を令和5年3月に策定した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和4年7月に「第6次沖縄県観光振興基本計画」を策定したことに伴い、令和5年3月に「沖縄観光推進ロードマップ」を策定した。今後は、ロードマップに基づく成果指標を用いた施策効果の検証や、各施策に係る取組の進捗状況の確認などを行うPDCAサイクルを実施し、沖縄観光の目指す将来像である「世界から選ばれる持続可能な観光地」の形成に向け各施策の着実な推進を図る。</p>	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
-	<p>ロードマップの策定にあたっては、関係機関や観光業界の意見を反映するため、関係機関や観光関連団体で構成する会議を開催し、策定に向けた検討を行った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	<p>各施策を推進する事業の進捗や社会経済情勢等の変化を反映し、成果指標や主な取組について適切な時期に見直しを図る必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	<p>説明会等の実施にあたり周知を強化し、説明会等への参加を促す。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-イ	SDGsに適応する観光ブランド力の強化	施策	②持続可能な観光指標の設定と観光地マネジメント
			施策の小項目名	○持続可能な観光施策の推進
主な取組	市町村における観光地マネジメントの促進		対応する成果指標	各市町村の観光基本計画において独自のKPIを設定した市町村数(累計)
施策の方向	<p>・国内外において「持続可能な観光」に関する取組が進められる中、各機関や各地域では「持続可能な観光指標 (Sustainable Tourism Indicator)」(以下「STI」)が開発されています。持続可能な観光を志向する観光客が増加していることから、観光における脱炭素化やSDGsに適応した観光地としてのブランド力の強化を図るため、国際基準のSTIを基に開発された「日本版持続可能な観光ガイドライン」(令和2年6月観光庁)を活用するほか、本県独自の成果指標の設定に取り組み、環境容量等を踏まえた持続可能な観光施策を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
持続可能な観光を推進するため、市町村における観光地マネジメント促進に資する情報提供や支援等を実施する。	県,市町村,観光協会等	持続可能な観光を推進するための市町村における観光地マネジメント促進に資する情報提供や支援等		
		市町村支援(情報提供、セミナー等)の件数(累計)		
		10件	10件(20件)	10件(30件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	地域観光支援事業			予算事業名	サステナブルツーリズム推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	528	2,027	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	11,984
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
持続可能な観光についてのセミナー開催、市町村との意見交換会、市町村への情報提供を実施した。				持続可能な観光についてのセミナーの開催及び観光諸問題の解決を目的とした地域観光課題解決支援を実施する。		

活動指標名	市町村支援（情報提供、セミナー等）の件数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		—	—	10件	10件	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

離島振興会議やフォローアップセミナー等での持続可能な観光についてのセミナー開催（計5回）、市町村との意見交換会や情報提供（計5回）を実施し、市町村における持続可能な観光地マネジメントに寄与した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	離島振興会議開催にあたり、市町村への事前アンケート結果を基に持続可能な観光地づくりセミナーを開催した。



様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	持続可能な観光(サステナブルツーリズム)については、包含する概念が広く、理解及び解釈が実施主体によって統一されていない。	② 連携の強化・改善	持続可能な観光(サステナブルツーリズム)が円滑に推進できるように、市町村、観光協会、観光事業者等と連携しながら取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-イ	SDGsに適応する観光ブランド力の強化	施策	②持続可能な観光指標の設定と観光地マネジメント
			施策の小項目名	○持続可能な観光施策の推進
主な取組	観光地の混雑解消・分散化・平準化		対応する成果指標	各市町村の観光基本計画において独自のKPIを設定した市町村数(累計)
施策の方向	<p>・国内外において「持続可能な観光」に関する取組が進められる中、各機関や各地域では「持続可能な観光指標 (Sustainable Tourism Indicator)」(以下「STI」)が開発されています。持続可能な観光を志向する観光客が増加していることから、観光における脱炭素化やSDGsに適応した観光地としてのブランド力の強化を図るため、国際基準のSTIを基に開発された「日本版持続可能な観光ガイドライン」(令和2年6月観光庁)を活用するほか、本県独自の成果指標の設定に取り組み、環境容量等を踏まえた持続可能な観光施策を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
持続可能な観光を推進するため、市町村における観光地マネジメント促進に資する情報提供や支援等を実施する。	県,観光施設等	混雑回避に必要な混雑情報や比較的空いている観光地の情報提供		
		観光施設による混雑情報の発信件数(累計)		
		2件	2件(4件)	2件(6件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光政策課 【 098-866-2763 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	エコツーリズム推進プラットフォーム事業			予算事業名	観光情報デジタル化推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	7,072	6,340	主な財源	実施方法	当初予算額
				各省計上	委託	40,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
各旅行業者及びランドオペレーターの観光旅程重複解消に向けた検討及び分析を行い、観光旅程の分散化・平準化に向けた具体的取組を構築した。				人流データをもとに観光地等の人流予測モデルを構築し、混雑状況を可視化することで、観光客の時期・時間・場所の分散化を促進する。		

活動指標名	観光施設による混雑情報の発信件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		—	—	2件	2件	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

持続可能な観光が潮流となっていることから、各施設や地域で観光客等による混雑への対応が迅速なものとなっていると同時に情報発信を行うことにより平準化に向けた取組も併せて行われている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
混雑解消・分散化・平準化については、沖縄県のみならず市町村や観光協会、地域DMO、観光関連事業者等との綿密な連携が必要である。	市町村を対象に「観光諸問題」をテーマとしたセミナーを実施し、各市町村の課題や今後の対策を共有した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	持続可能な観光地を形成するためには、受入地域と観光客の適正なバランスを保つ必要があり、そのためには、行政のみならず観光関連事業者や地域DMOとの連携が必要不可欠となる。	⑤ 情報発信等の強化・改善	観光地等の混雑状況を可視化したWebサイトを構築し、情報発信する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	①沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
			施策の小項目名	○多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進
主な取組	多彩かつ質の高い観光コンテンツの開発		対応する成果指標	平均滞在日数
施策の方向	・本県の豊かな自然環境、琉球王朝時代から培われてきた伝統文化や伝統芸能、空手、泡盛や琉球料理、ホスピタリティ等の本県のソフトパワーを生かした多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
民間事業者の実施する沖縄のソフトパワー(歴史、自然、文化等)を活用した観光コンテンツ開発を支援することにより、観光消費額の向上や滞在日数の延伸等、沖縄の抱える観光課題解決を図る。	県	体験型の観光コンテンツ開発への支援		
		支援件数(累計)		
		4件	4件(8件)	4件(12件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業			予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助	40,626	105,607	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	100,037
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者15件を支援した。				沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者10件を支援する。		

活動指標名	支援件数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	3件	4件	11件	4件	100.0%	順調	沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを支援した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

民間事業者や地域観光協会等が実施する体験型のコンテンツ開発を11件支援し、目標を達成した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>支援期間を1年から3年に延ばす。</li> <li>観光コンテンツの開発を検討している事業者に対し、観光コンテンツの開発に資するセミナーを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多彩で質の高いコンテンツ開発を促進するため、最長3年まで支援できるよう補助金要綱の改正を行った。</li> <li>補助事業者を含む観光関連事業者を対象に、観光コンテンツ開発に資するセミナーを実施した。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	多彩で質の高いコンテンツ開発を自走化させるためには、事業実施主体と地域との連携が必要である。	② 連携の強化・改善	事業実施主体の所在町村、地域観光協会等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う必要がある。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	①沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
			施策の小項目名	○多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進
主な取組	フィルムツーリズムの推進		対応する成果指標	平均滞在日数
施策の方向	<p>・本県の豊かな自然環境、琉球王朝時代から培われてきた伝統文化や伝統芸能、空手、泡盛や琉球料理、ホスピタリティ等の本県のソフトパワーを生かした多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
映画・TVドラマ等の映像コンテンツを活用し、沖縄の認知度(理解・好意)向上を図るため、国内外の映画祭等出展を通して、ロケ地沖縄のPR及びロケの受入整備強化を推進する。	県,市町村,観光協会	沖縄で撮影を行う作品への支援		
		沖縄で撮影を行う作品の支援件数(累計)		
		30件	30件(60件)	30件(90件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—



様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	フィルムツーリズム推進事業			予算事業名	フィルムツーリズム推進事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
一括交付金 (ソフト)	委託	20,896	22,341	主な財源	実施方法	当初予算額	
				一括交付金 (ソフト)	委託	27,322	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
<p>沖縄ロケを行う映画等の誘致及び円滑な撮影のためのワンストップサービスの提供、沖縄ロケ映像のPRによる沖縄への誘客を促進する取組を実施した。</p>				<p>沖縄ロケを行う映画等の誘致及び円滑な撮影のためのワンストップサービスの提供、沖縄ロケ映像のPRによる沖縄への誘客を促進する取組を実施する。</p>			
活動指標名	沖縄で撮影を行う作品の支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	15件	12件	27件	30件	90.0%	順調	ロケ地情報提供やロケハン・シナハン、ロケ現場のサポートを行うとともに、地域自治体や観光関連施設のロケ担当者との協力体制を構築し、長期的な撮影受入体制の強化を図る。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
新型コロナウイルスの影響が徐々に減少したことにより撮影件数自体が増加し、昨年度と比較しロケ支援件数も15件(225%)の増加となった。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和4年度の取組改善案				反映状況			
令和3年度に策定したロケ受入ガイドラインを活用し、撮影側における撮影マナー等の啓発や、受入側における撮影が行われる際の注意点等に対する理解の促進を図る。				「ロケの円滑な受入れのためのガイドライン」の周知・浸透を図るため、県内の市町村・観光協会を訪問し活用促進を呼びかけるとともに、地域のロケ受入れ状況や課題等についてヒアリングと意見交換を実施した。			

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	コロナ禍で減少していたロケ受入が再開し始め、多くの市町村で撮影が行われているが、人材や情報共有不足から十分な受入体制が整っていない地域もある。	② 連携の強化・改善	引き続きロケ受入のためのガイドラインの活用を促進しつつ、ロケ受入連絡会を開催し県内各団体間のネットワーク強化を図り、必要に応じて協力体制を構築できるような関係性構築に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	①沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
			施策の小項目名	○多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進
主な取組	沖縄国際映画祭を活用したツーリズムの推進		対応する成果指標	平均滞在日数
施策の方向	・本県の豊かな自然環境、琉球王朝時代から培われてきた伝統文化や伝統芸能、空手、泡盛や琉球料理、ホスピタリティ等の本県のソフトパワーを生かした多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄国際映画祭を通じ、沖縄の地域の魅力を国内外に発信する取組を実施する。	県,市町村,観光関連事業者	沖縄国際映画祭を通じたイベント等の実施		
		イベントの実施回数(累計)		
		3件	3件(6件)	3件(9件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	フィルムツーリズム推進事業			予算事業名	フィルムツーリズム推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	49,437	40,949	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	36,850
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄国際映画祭の開催支援や、国内外における沖縄国際映画祭を通じたイベントの開催等により沖縄の地域の魅力を発信する取組を実施した。				沖縄国際映画祭の開催支援や、国内外における沖縄国際映画祭を通じたイベントの開催等により沖縄の地域の魅力を発信する取組を実施する。		

活動指標名	イベントの実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		件	件	4件	3件	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルス感染防止のため、「イベント開催のガイドライン」等を遵守しながら、計4回のイベントを開催し、沖縄国際映画祭を通じた地域の魅力発信に取り組むことができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの開催に制限がかかり実施規模等が縮小されていたが、ガイドラインを遵守し、感染防止安全計画等を提出することで、制限を緩和しながら安全・安心なイベントを実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、令和5年5月8日移行にイベント開催ガイドライン等が廃止され、イベントの開催規模がコロナ禍以前のように回復している。	⑥ 変化に対応した取組の改善	開催規模や内容等をコロナ禍以前のように見直しつつ、段階的に増加する外国人観光客も取り込めるようなイベント作りに取り組む必要がある。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	①沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
			施策の小項目名	○多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進
主な取組	「琉球料理が味わえる店(仮)」店舗認証制度		対応する成果指標	平均滞在日数
施策の方向	・本県の豊かな自然環境、琉球王朝時代から培われてきた伝統文化や伝統芸能、空手、泡盛や琉球料理、ホスピタリティ等の本県のソフトパワーを生かした多彩で付加価値の高い沖縄観光の実現を支える多様なツーリズムの推進に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
「琉球料理が味わえる店(仮)」店舗認証制度に関する制度設計を行う。	県	認証制度に係る制度設計	店舗等の募集及び認証	
		「琉球料理が味わえる店(仮)」店舗認証件数(累計)		
		—	30件	30件(60件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄食文化保存普及継承事業			予算事業名	沖縄食文化保存普及継承事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託		19,537	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	20,997
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、店舗認証制度を創設した。				沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、店舗認証を実施する。		

活動指標名	「琉球料理が味わえる店(仮)」 店舗認証件数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		—	—	—	—		順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「琉球料理が味わえる店」店舗認証制度を創設したことにより、沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図った。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	—

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	「琉球料理が味わえる店」認証制度が開始される。	⑧ その他	認証制度が開始されるため、本制度のPRを行っていく。



様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	①沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
			施策の小項目名	○自然体験型観光や文化資源の観覧等
主な取組	持続可能なマリンレジャーの振興		対応する成果指標	平均滞在日数
施策の方向	<p>・世界自然遺産をはじめとする地域の魅力ある自然環境や地域社会に配慮したエコツアー、マリンレジャー等の自然体験型観光や世界文化遺産をはじめとする文化資源の観覧、体験活動等を通じて文化についての理解を深めることを目的とする文化観光、ナイトタイムエコノミー等を活用した魅力ある都市型観光を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
マリンレジャー市場調査及び情報発信を行う。	県,民間事業者等	SDGsや環境に配慮したマリンレジャーを推進するためのセミナー等の実施		
		セミナー参加事業者数(累計)		
		100事業者	100事業者(200事業者)	100事業者(300事業者)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	マリンレジャー魅力向上促進事業			予算事業名	マリンレジャー魅力向上促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託		7,742	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	7,337
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
環境の保全を行いながら観光を楽しむといったレスポンスブルツーリズム概念のプロモーションを行った。				沖縄のマリンレジャーに関する課題や観光客のニーズ等に関して整理を行うとともに、レスポンスブルツーリズムを観光客向けにプロモーションを行う。		

活動指標名	セミナー参加事業者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		-事業者	-事業者	184事業者	100事業者	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

セミナーを年間3回行い、合計184事業者が参加し、目標値を達成した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
観光客へレスポンスブルツーリズムに参画できるプロモーション手法を綿密に検証する必要があった。	WEBサイト用のランディングページを作成し、観光客が閲覧しやすい観光情報サイトとの連携を図った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	海域におけるルールや環境を保全しながら観光促進するレスポンスブルツーリズムの概念が普及されていないことから、他の実施主体や団体と連携する必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	海域毎におけるルールやレスポンスブルツーリズムの概念が普及できるように事業者及び観光客へ効果的に周知啓発を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	①沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
			施策の小項目名	○自然体験型観光や文化資源の観覧等
主な取組	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業		対応する成果指標	平均滞在日数
施策の方向	<p>・世界自然遺産をはじめとする地域の魅力ある自然環境や地域社会に配慮したエコツアー、マリンレジャー等の自然体験型観光や世界文化遺産をはじめとする文化資源の観覧、体験活動等を通じて文化についての理解を深めることを目的とする文化観光、ナイトタイムエコノミー等を活用した魅力ある都市型観光を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立し、旅行商品造成プログラムモデルを構築する。	県	旅行商品造成プログラムモデルの構築		
		プログラムモデル構築数(累計)		
		2件	2件(4件)	2件(6件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業			予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	—	27,409	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	26,050
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立するため、芸術性や芸能性、エンターテインメント性が高い舞台公演を支援した。				沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立するため、芸術性や芸能性、エンターテインメント性が高い舞台公演を支援する。		

活動指標名	プログラムモデル構築数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	0件	0件	2件	2件	100.0%	順調	芸術性や芸能性、エンターテインメント性が高い舞台公演を支援した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

芸術性や芸能性、エンターテインメント性が高い舞台公演を支援することで、観光客が沖縄の歴史文化を体験できる機会を創出できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	有識者によるワーキンググループを10回開催し、芸能団体に対して助言やアドバイスを行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	観光客の割合を増やすための取り組みが必要である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	旅行会社などの意見を取り入れながら、文化資源を観光コンテンツとして商品化する仕組み作りを引き続き行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	①沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
			施策の小項目名	○自然体験型観光や文化資源の観覧等
主な取組	日本遺産普及啓発事業		対応する成果指標	平均滞在日数
施策の方向	<p>・世界自然遺産をはじめとする地域の魅力ある自然環境や地域社会に配慮したエコツアー、マリンレジャー等の自然体験型観光や世界文化遺産をはじめとする文化資源の観覧、体験活動等を通じて文化についての理解を深めることを目的とする文化観光、ナイトタイムエコノミー等を活用した魅力ある都市型観光を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信を行う。	県、市町村、関係団体等	県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信		
		Webサイトでの情報発信件数(累計)		
		12件	12件(24件)	12件(36件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	琉球文化日本遺産事業			予算事業名	琉球文化日本遺産事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	負担		1,400	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	負担	1,400
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を図った。				琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を図る。		

活動指標名	Webサイトでの情報発信件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		—	—	11件	12件	91.7%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ホームページを活用し、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を図ることにより、地域の活性化及び観光振興につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信するため、構成団体が主催のイベント等の情報発信を併せて行った。



様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和6年度に日本遺産認定継続の審査を控えており、引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく必要がある。	⑧ その他	引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	①沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
			施策の小項目名	○沖縄の魅力を生かした質の高い観光の推進
主な取組	ウェルネス等に関する観光コンテンツの開発		対応する成果指標	平均滞在日数
施策の方向	・心身の健康を希求するウェルネスや癒やし、リフレッシュ等の国内外の旅行者が求めるニーズに対応した沖縄の魅力を生かした質の高い観光を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
民間事業者の実施する沖縄のソフトパワー(歴史、自然、文化等)を活用した観光コンテンツ開発を支援することにより、観光消費額の向上や滞在日数の延伸等、沖縄の抱える観光課題解決を図る。	県	ウェルネス等に関する観光コンテンツの開発への支援		
		支援件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業			予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助	40,626	105,607	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	100,037
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者15件を支援した。				沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者10件を支援する。		

活動指標名	支援件数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	1件	1件	100.0%	順調	沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを支援した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

地域観光協会等が実施するウェルネス関連のコンテンツ開発を1件支援し、目標を達成した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>支援期間を1年から3年に延ばす。</li> <li>観光コンテンツの開発を検討している事業者に対し、観光コンテンツの開発に資するセミナーを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多彩で質の高いコンテンツ開発を促進するため、最長3年まで支援できるよう補助金要綱の改正を行った。</li> <li>補助事業者を含む観光関連事業者を対象に、観光コンテンツ開発に資するセミナーを実施した。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	多彩で質の高いコンテンツを開発を自走化させるためには、事業実施主体と地域との連携が必要である。	② 連携の強化・改善	事業実施主体の所在町村、地域観光協会等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う必要がある。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	②多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開
			施策の小項目名	○滞在日数の延伸や観光消費額の向上
主な取組	海外富裕層向けプロモーション事業		対応する成果指標	国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額
施策の方向	<p>・沖縄観光ブランドであるBe. Okinawaのイメージを基に、国内、海外の各市場においてターゲットの特性に応じた戦略的なプロモーション活動を展開し沖縄観光の価値を訴求することで、富裕層等をはじめとする、より消費単価の高い層の取り込みを図り、滞在日数の延伸や観光消費額の向上に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>沖縄が持つ豊かな自然や多様な文化、独特な雰囲気を持つ空間や時間などこれらソフトパワーを活用し、富裕層を取り込むため、海外富裕層市場に向けたプロモーションを実施する。</p>	<p>県</p>	<p>富裕層(海外)へのプロモーションの実施</p>		
		<p>プロモーション実施回数(累計)</p>		
		<p>3回</p>	<p>3回(6回)</p>	<p>3回(9回)</p>
<p>担当部課【連絡先】</p>	<p>文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】</p>		<p>関連URL</p>	<p>—</p>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄観光グローバル事業			予算事業名	沖縄観光グローバル事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	403,286	373,799	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	643,185
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
海外富裕層情報媒体への出稿、富裕層市場商談会への出展、海外富裕層専門旅行業者のFAMツアー招聘等で海外富裕層向けプロモーションを実施した。				海外富裕層情報媒体への出稿、富裕層市場商談会への出展、海外富裕層専門旅行業者のFAMツアー招聘等で海外富裕層向けプロモーションを実施する。		

活動指標名	プロモーション実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		3回	3回	3回	3回	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

外国人観光客の受入再開に伴う海外富裕層の沖縄への観光意欲の増加を背景として、国内外の富裕層専門旅行業者の招聘が計画どおり実施された。当該旅行業者は県内観光関連事業者26施設を訪問してコンテンツ視察を行い、富裕層専門旅行業者による7件の高付加価値旅行商品の造成・販売に繋がった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
コロナ収束後を見据え、富裕層プロモーションを強化し量から質への向上を図る。	国内外の富裕層専門旅行業者による、県内観光関連事業者が持つ高付加価値旅行商品の発掘及びコンテンツ造成を行い、より富裕層の誘客に繋がることを目指したプロモーションを実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	日本政府による海外観光客の受入再開により、海外富裕層にプロモーションを行い誘客しやすい環境が整った。	② 連携の強化・改善	訪日旅行需要の高まりの中で、沖縄の認知度や魅力を十分にPRするため、県内観光関連事業者と一体となって国際観光関連商談会における誘客プロモーション活動を展開し、さらなる需要の創出を図る。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	2年以上にわたるコロナ禍の影響により、SDGsや自然、健康といったテーマが台頭したほか、滞在期間の長期化等、観光に求める切り口や消費の仕方が多様化している。	⑤ 情報発信等の強化・改善	海外富裕層向け有名旅行誌への県内コンテンツ紹介記事出稿や、国内外の富裕層専門旅行者による富裕層向けの沖縄情報の発信・販売機会を継続的に確保する。
⑥ 他地域等の動向(外部環境の変化)	今後の訪日旅行需要の高まりにより、国内外の観光地において富裕層を含むインバウンド誘客の動きが本格化することが見込まれる。	⑥ 変化に対応した取組の改善	観光関連事業者以外の参画を促し、県内観光関連事業者の引き出しを増やし、富裕層への対応力を向上させる。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	②多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開
			施策の小項目名	○滞在日数の延伸や観光消費額の向上
主な取組	国内富裕層向けプロモーション事業		対応する成果指標	国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額
施策の方向	<p>・沖縄観光ブランドであるBe. Okinawaのイメージを基に、国内、海外の各市場においてターゲットの特性に応じた戦略的なプロモーション活動を展開し沖縄観光の価値を訴求することで、富裕層等をはじめとする、より消費単価の高い層の取り込みを図り、滞在日数の延伸や観光消費額の向上に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>沖縄が持つ豊かな自然や多様な文化、独特な雰囲気を持つ空間や時間などこれらソフトパワーを活用し、富裕層を取り込むため、国内富裕層市場に向けたプロモーションを実施する。</p>	<p>県</p>	<p>富裕層(国内)へのプロモーションの実施</p>		
		<p>プロモーション実施回数(累計)</p>		
		<p>2回</p>	<p>2回(4回)</p>	<p>2回(6回)</p>
<p>担当部課【連絡先】</p>	<p>文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】</p>		<p>関連URL</p>	<p>—</p>



様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	国内需要安定化事業			予算事業名	国内需要安定化事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	422,662	350,122	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	322,434
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
国内富裕層情報媒体への出稿と富裕層向け商品造成に向けた県内観光関連事業者間ネットワーク会議実施等で国内富裕層向けプロモーションを実施した。				国内富裕層情報媒体への出稿と富裕層向け商品開発に向けた県内観光関連事業者間ネットワーク会議実施等で国内富裕層向けプロモーションを実施する。		

活動指標名	プロモーション実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	2回	2回	2回	2回	100.0%	順調	国内富裕層情報媒体への出稿によるプロモーションと、富裕層向け商品造成に向けた県内観光関連事業者間ネットワーク会議実施によるプロモーションを通じて、国内富裕層向けプロモーション2件を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

コロナ禍を経て、国内の富裕層に対するアプローチをより現実的に見据え、外部有識者と沖縄県内観光関連事業者の連携をこれまでよりも密にしながら実施、参加者からの観光資源の把握と商品化に取り組んだ。有識者と参加者間や、参加者同士の連携でコンテンツ造成が行われ、実際の送客にもつながる成果があった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
コロナ収束後を見据え、富裕層プロモーションを強化し量から質への向上を図る。	沖縄観光グローバル事業下の海外富裕層向けプロモーション事業の取組内容 (国内外の富裕層専門旅行者による、県内観光関連事業者が持つ高付加価値旅行商品の発掘及びコンテンツ造成) を活用しつつ、富裕層受入に係るコンテンツ発掘及び販路拡大に向けた連携の強化と拡大のための県内観光関連事業者ネットワーク会議を開催し、より富裕層の誘客に繋がる取組を実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	これまでに実施した国内富裕層向け雑誌等への出稿により、富裕層向けコンテンツも多く露出されるようになったが、理解ある出版社がまだ限定的であることから、新たな協力先や露出方法の整理が必要である。	② 連携の強化・改善	国内高付加価値旅行者等の誘客競争が加速する中、沖縄の認知度や魅力を十分にPRするため、県内観光事業者が一体となり誘客プロモーション活動に活用できる新規コンテンツ造成等更なる需要の創出を図る。
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	2年以上にわたるコロナ禍の影響により、SDGsや自然、健康といったテーマが台頭したほか、滞在期間の長期化等、観光に求める切り口や消費の仕方が多様化している。	⑤ 情報発信等の強化・改善	海外富裕層向け有名旅行誌への県内コンテンツ紹介記事出稿や、国内外の富裕層専門旅行者による富裕層向けの沖縄情報の発信・販売機会を継続的に確保する。
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	コロナ禍後の旅行需要の高まりにより、国内の多くの自治体や観光地において富裕層に対する誘客の動きが本格化することが見込まれる。	⑥ 変化に対応した取組の改善	観光関連事業者以外の参画を促し、県内観光関連事業者の引き出しを増やし、富裕層への対応力を向上させる。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	②多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開
			施策の小項目名	○ターゲットに応じたきめ細かな国内誘客活動の展開
主な取組	国内需要安定化事業		対応する成果指標	国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額
施策の方向	<p>・国内誘客については、独自の自然や文化等の地域ごとに異なる魅力を発信するなど、ターゲットに応じたきめ細かな誘客活動を展開し、平和学習や民泊体験、SDGsへの取組など、沖縄でしか体験できない魅力ある教育旅行を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国内からの観光客誘致の基盤を形成するため、ターゲットを特定した季節ごとのきめ細やかなプロモーション及び新規路線就航や既存路線の増便等路線拡大を促すためのプロモーション、沖縄観光のブランドイメージの発信を行う。	県	国内でのプロモーションの実施		
		プロモーション実施回数(累計)		
		20回	20回(40回)	20回(60回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	国内需要安定化事業			予算事業名	国内需要安定化事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	422,662	350,122	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ハード)	委託	322,434
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
メディア活用や航空会社等と連携を強化したプロモーション、沖縄観光ブランドのイメージ発信を実施する他、富裕層向けプロモーションに取組んだ。				メディアの活用や航空会社等と連携を強化したプロモーション、沖縄観光ブランドのイメージ発信等を実施する他、富裕層向けプロモーションに取組む。		

活動指標名	プロモーション実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		32回	30回	22回	20回	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

需要回復期の誘客に繋げるためデジタル媒体を中心としたメディアによる発信、直行便就航地を中心に、航空会社等と連携したプロモーションを実施したほか、沖縄観光のブランドイメージを発信する取組をメディア等を活用して実施した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
航空会社等と連携した誘客プロモーションを強化し、直行便のみでなく乗り継ぎ需要の取り込みも行うことで、搭乗率の改善を図る。 また、全国的な国内旅行需要の回復を効果的に取り込むため、感染予防・拡大防止等への取組のPRを強化するとともに、マスメディア等を活用した積極的な誘客プロモーション及び沖縄観光のブランド化に向けた取り組みを戦略的に実施する。	航空会社等と連携した誘客プロモーションを強化し、直行便のみでなく乗り継ぎ需要の取り込みも行うことで、搭乗率の改善を図った。 さらに全国的な国内旅行需要の回復を効果的に取り込むため、感染予防・拡大防止等への取組のPRを強化するとともに、マスメディア等を活用した積極的な誘客プロモーション及び沖縄観光のブランド化に向けた取り組みを戦略的に実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	航空会社の経営状況や受入の状況等による影響が顕著である。	⑥ 変化に対応した取組の改善	回復基調にある国内旅行需要を効果的に取り込むために、積極的なプロモーションと沖縄観光のブランド化に向けた取組みを実施する。
		④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	搭乗率の低い航空路線を中心としてプロモーション活動を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	②多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開
			施策の小項目名	○ターゲットに応じたきめ細かな国内誘客活動の展開
主な取組	教育旅行推進強化事業		対応する成果指標	国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額
施策の方向	<p>・国内誘客については、独自の自然や文化等の地域ごとに異なる魅力を発信するなど、ターゲットに応じたきめ細かな誘客活動を展開し、平和学習や民泊体験、SDGsへの取組など、沖縄でしか体験できない魅力ある教育旅行を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>沖縄への修学旅行を安定的に確保するため、沖縄修学旅行プロモーションの実施や実施予定校に対する事前・事後学習支援、商品造成の支援等を行う。また実施時期分散化など受入体制整備に向けた取組を実施する。</p>	県	教育旅行プロモーションの実施	沖縄修学旅行プロモーションの実施	
		プロモーション実施回数(累計)		
		6回	6回(12回)	6回(18回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	教育旅行推進強化事業			予算事業名	教育旅行推進強化事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	69,955	77,241	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ハード)	委託	102,590
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
修学旅行推進協議会開催、修学旅行プロモーション、事前事後学習支援、修学旅行模擬体験提供、海外教育旅行誘致活動等を実施した。				修学旅行推進協議会開催、修学旅行プロモーション、事前事後学習支援、修学旅行模擬体験提供、海外教育旅行誘致活動等を実施する。		

活動指標名	プロモーション実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	3回	4回	7回	6回	100.0%	順調	修学旅行推進協議会開催 (1回)、プロモーション回数 (7回)、事前事後学習支援 (119件)、修学旅行模擬体験提供 (10件) 等を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

プロモーションについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで開催が見送られていた大型催事等が開催されたことから、目標を達成に寄与した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>より効果的なプロモーションを実施するため、これまでのフェア・説明会にとらわれずプロモーション手法を含め見直しを図る。</li> <li>受入体制整備に向け、調査活動を実施するとともに、沖縄修学旅行推進協議会・分科会にて県内の修学旅行関連事業者が緊密に連携し協議を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>修学旅行関係者向けにモニターツアーを実施。近年学校現場において求められる探求学習やSDGs学習に対応するコンテンツの紹介や体験プログラムを提供し、沖縄修学旅行のプロモーションを図った。</li> <li>受入体制整備については、学校からニーズが高い、平和学習について受入体制に関する調査を実施。調査結果から、平和学習受入団体においても、繁忙期の人手不足が課題となっており検討が必要である。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	修学旅行相談会等については、夏休み等の休暇期間や夕方以降の開催等により多くの学校関係者に参加して頂けるよう検討が必要。また、修学旅行実施時期の平準化に向けた取組に対する検討が必要である。	⑦ 取組の時期・対象の改善	修学旅行相談会等の実施時期を休暇期間中に設定する。また、修学旅行実施時期の平準化に向け、より効果的なプロモーションについて洗い出しをおこない、ターゲットを絞ったプロモーションを実施する。



様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	②多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開
			施策の小項目名	○特定地域に偏らない海外誘客活動の展開
主な取組	沖縄観光グローバル事業 (海外重点市場)		対応する成果指標	国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額
施策の方向	・海外誘客については、近隣のアジア市場のみならず、欧米豪露等の新規市場や潜在市場での開拓を進め、特定地域に偏らない誘客活動を展開し、欧米豪露等の長期滞在型リゾート需要や海外富裕層等の消費単価の高い層の取り込みを図ることで、質の向上に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
台湾、中国本土、韓国及び香港から外国人観光客を誘客することを目的に、旅行博への出展や商談会開催、各市場特性に応じたプロモーションを展開する。	県	海外重点市場(台湾、香港、中国本土、韓国)でのプロモーション等の実施		
		プロモーション実施地域数(内訳)		
		4箇所	4箇所(継続4箇所)	4箇所(継続4箇所)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄観光グローバル事業			予算事業名	沖縄観光グローバル事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	403,286	373,799	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	643,185
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
プロモーション実施地域数は、4箇所の目標値に対して、7箇所の実施となった。				プロモーション実施地域数は、4箇所の実施を計画している。		

活動指標名	プロモーション実施地域数 (内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		12箇所	6箇所	7箇所	4箇所	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

委託事業者及び県海外事務所と連携を図りながら、国際線の路線回復に向けた取組とともに海外個人旅行者の受入再開後を見据えたプロモーション活動を実施した。令和4年度は那覇空港国際線の回復が進み、運航状況は3路線(台北、香港、仁川)、12社運航となり、外国人観光客は3年ぶりに皆増の20万100人となった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>国際線の再開に向けて、引き続きCIQ等の関係機関や庁内の関係部局と連携して取り組んでいく。</li> <li>コロナ収束後を見据え、引き続き県海外事務所や観光委託駐在員の現地機能、オンラインを活用したプロモーションを実施するとともに、Be. Okinawaブランディングの強化や富裕層プロモーションを強化し量から質への向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の動向等も踏まえ、県は、令和4年5月25日に那覇空港国際線の再開について国に要請を行い、那覇空港国際線は6月末までに国による検疫体制等の整備が完了した。</li> <li>那覇空港国際線の再開及び路線回復により、令和4年度の外国人観光客数は20万100人となり、新型コロナウイルス感染症以降、初めて皆増に転じた。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	運休となっている路線の回復に向けて、航空会社への働きかけが必要である他、新規の航空会社が沖縄路線の開設に関心を示している。	⑥ 変化に対応した取組の改善	航空会社や旅行会社に対してセールス活動を強化することにより、新たな需要の創出や既存の需要の安定化を図り、路線回復に繋げる必要がある。
⑥ 他地域等の動向(外部環境の変化)	今後の訪日旅行需要の高まりにより、国内外の観光地においてインバウンド誘客の動きが本格化することが見込まれる。	② 連携の強化・改善	県内のインバウンドの誘客体制の回復に向けて、県内事業者にも共同出展を呼びかけ官民一体となった誘客体制を整備することで、さらなる需要の創出を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	②多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開
			施策の小項目名	○特定地域に偏らない海外誘客活動の展開
主な取組	沖縄観光グローバル事業（戦略開拓市場等）		対応する成果指標	国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額
施策の方向	・海外誘客については、近隣のアジア市場のみならず、欧米豪露等の新規市場や潜在市場での開拓を進め、特定地域に偏らない誘客活動を展開し、欧米豪露等の長期滞在型リゾート需要や海外富裕層等の消費単価の高い層の取り込みを図ることで、質の向上に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
欧米やシンガポール、タイ、マレーシアなどの東南アジアから外国人観光客を誘客することを目的に、旅行博への出展や商談会開催、各市場特性に応じたプロモーションを展開する。	県	戦略開拓市場(タイ、シンガポール、マレーシア等)、新規開拓市場(欧州、北米、豪州、露)、潜在市場(インド、中東、北欧)でのプロモーション等の実施		
		プロモーション実施地域数		
		7箇所	7箇所	7箇所
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄観光グローバル事業			予算事業名	沖縄観光グローバル事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	403,286	373,799	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	643,185
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
プロモーション実施地域数は、8箇所の目標値に対して、8箇所の実施となった。				プロモーション実施地域数は、7箇所の実施を計画している。		

活動指標名	プロモーション実施地域数		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		8箇所	8箇所	8箇所	7箇所	100.0%	順調

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>委託事業者及び県海外事務所、観光委託駐在員（英国、仏、独、豪に設置）と連携を図りながら、国際線の路線回復に向けた取組とともに海外個人旅行者の受入再開後を見据えたプロモーション活動を実施した。令和4年度は那覇空港国際線の回復が進み、運航状況は3路線（台北、香港、仁川）、12社運航となり、外国人観光客は3年ぶりに皆増の20万100人となった。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>国際線の再開に向けて、引き続きCIQ等の関係機関や庁内の関係部局と連携して取り組んでいく。</li> <li>コロナ収束後を見据え、引き続き県海外事務所や観光委託駐在員の現地機能、オンラインを活用したプロモーションを実施するとともに、Be. Okinawaブランディングの強化や富裕層プロモーションを強化し量から質への向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の動向等も踏まえ、県は、令和4年5月25日に那覇空港国際線の再開について国に要請を行い、那覇空港国際線は6月末までに国による検疫体制等の整備が完了した。</li> <li>那覇空港国際線の再開及び路線回復により、令和4年度の外国人観光客数は20万100人となり、新型コロナウイルス感染症以降、初めて皆増に転じた。</li> </ul>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	運休となっている路線の回復に向けて、航空会社への働きかけが必要である他、新規の航空会社が沖縄路線の開設に関心を示している。
⑥ 他地域等の動向(外部環境の変化)	今後の訪日旅行需要の高まりにより、国内外の観光地においてインバウンド誘客の動きが本格化することが見込まれる。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	航空会社や旅行会社に対してセールス活動を強化することにより、新たな需要の創出や既存の需要の安定化を図り、路線回復に繋げる必要がある。
② 連携の強化・改善	県内のインバウンドの誘客体制の回復に向けて、県内事業者と共同出展を呼びかけ官民一体となった誘客体制を整備することで、さらなる需要の創出を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	②多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開
			施策の小項目名	○広範なニーズを多角的に把握した各コンテンツの効果的な発信
主な取組	カップルアニバーサリーツーリズム事業		対応する成果指標	国内客及び外国空路客の一人当たり観光消費額
施策の方向	<p>・、沖縄型特定免税店制度を活用したショッピング、レジャー、スポーツ、リゾートウェディング、MICE、ワーケーションなど、広範なニーズを多角的に把握し、各コンテンツの効果的な発信により消費額の高い観光客の誘客を図ります。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
リゾートウェディング等を沖縄観光ブランドの一つと位置づけ、国内外に向けてブランディング及びプロモーションを実施し、挙式組数の増加、観光消費額の向上を図る。	県	カップルアニバーサリーのプロモーションの実施		
		プロモーション実施回数(累計)		
		6回	6回(12回)	6回(18回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	<a href="https://beokinawa-couple-anniversary.jp">https://beokinawa-couple-anniversary.jp</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	カップルアニバーサリーツーリズム事業			予算事業名	カップルアニバーサリーツーリズム事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	48,981	39,360	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	35,550
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
キービジュアルを制作し、国内外に向けたデジタル配信を行うとともに、国内主要都市（横浜、大阪）及び台湾でウェディングフェアを開催した。				キービジュアルを制作し、国内外に配信するとともに、国内2都市及び台湾でウェディングフェアを開催するほか、香港ウェディングエキスポに出展する。		

活動指標名	プロモーション実施回数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	9回	9回	8回	6回	100.0%	順調	国内外に向けてブランドイメージの浸透を図るとともに、ウェディングフェアを開催し、沖縄リゾートウェディングの魅力を発信し、認知度向上と需要喚起を図った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値であるプロモーション回数6回に対し、8回を達成した。  
 継続したブランディングイメージの発信、需要喚起のプロモーション等によって、令和4年の沖縄リゾートウェディング実施組数は過去最多を記録した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ブランディングを強化し、カップルが訪れる特別な場所としてのイメージ定着を図るとともに、沖縄リゾートウェディングに対して上質なイメージの醸成を図る。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、国内市場を中心としたプロモーションを実施するとともに、海外については、比較的感染拡大状況が落ち着いている台湾においてプロモーションを実施し、需要の取込を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブランドをイメージさせるビジュアルを5本（キービジュアル、プロポーズ編、ウェディング編、ハネムーン編、バウ・リニューアル編）制作し、国内外に向けて配信等を行った。</li> <li>国内2カ所（横浜、大阪）にてウェディングフェアを開催すると同時に全国を対象としたオンライン相談会を実施した。また、台湾ではインフルエンサーによる情報発信を行ったほか、台北市でウェディングフェア等のプロモーションを実施した。</li> </ul>



様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	国内市場は、少子化により市場そのものが縮小傾向にあるほか、経済的な理由から結婚式をしない総、結婚式に意義を見出せない「ナシ婚」層が一定程度いる。	⑤ 情報発信等の強化・改善	プロポーズ、ウェディング、ハネムーン、バウ・リニューアルなど、カップルの記念日を沖縄で過ごすショートムービーや画像を制作、露出することで、沖縄でのウェディング実施を訴求する。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	沖縄リゾートウェディングの統計調査(沖縄県観光振興課実施)の結果から、高単価な挙式から、手の届きやすい価格帯であるフォトウェディング実施への移行が見られる。	⑤ 情報発信等の強化・改善	新規チャペルなどの情報や、アフターウェディングの情報などを発信し、ハネムーンを兼ねた沖縄ウェディングの魅力を伝えることで、観光消費額の向上と滞在日数を図る。
③ 他地域等との比較(内部要因)	海外への渡航制限がなくなったことにより、ハワイやグアムなどの人気リゾート地との比較競争が始まっている。	⑥ 変化に対応した取組の改善	円安や新型コロナウイルス感染症の影響により、海外挙式のハードルがまだ高いことから、国内外でのプロモーションを実施し、需要の取込を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	③質の高いクルーズ観光の推進
			施策の小項目名	○多様な国際クルーズネットワークの拡充等
主な取組	クルーズ船の誘致		対応する成果指標	プレミアム/ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数の割合
施策の方向	・フライ・アンド・クルーズ等の新たな旅行形態についても、良質な観光・ツーリズムの振興を要件に、沖縄観光の付加価値を創出する方策として展開を図り、その誘致を含めた多様な国際クルーズネットワークの拡充等に取り組みます。クルーズ船寄港による経済的利益の創出と地域への還元のあり方について検討を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
展示会への出展、プロモーション、クルーズ船社等への誘致活動、地域の受入体制強化等を通して、付加価値の高いクルーズの寄港の寄港、周遊・発着クルーズを戦略的に誘致する。	県	プレミアム/ラグジュアリークラスのクルーズ船をターゲットにしたプロモーションの展開		
		プロモーション実施地域数		
		5地域	5地域	5地域
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名 戦略的クルーズ観光推進事業					予算事業名 戦略的クルーズ観光推進事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
				主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 (ソフト)	委託	54,063	36,423	一括交付金 (ソフト)	委託	50,510	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
クルーズ船の再開に向けた船社への誘致活動、国際展示会への出展、プロモーション展開、クルーズ船の受入対応等を行った。				エクスペディションクルーズ、フライ&クルーズの誘致活動、国際展示会への出展、プロモーションを展開する他、クルーズ船の受入対応・強化を行う。			
活動指標名	プロモーション実施地域数		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	8地域	8地域	5地域	5地域	100.0%	順調	国際クルーズが再開しているアメリカ、イギリス、フランス、オーストラリアを中心とした市場、邦船による日本市場を深耕するための広告展開を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>日本における国際クルーズの再開を見据えて、継続してクルーズ船社等との関係強化を図ってきたこと、クルーズ需要が回復している欧米等を中心にプロモーションを展開してきたこともあり、日本における国際クルーズの受入再開後、早期に沖縄への寄港再開につながった。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>まずは邦船クルーズの受入再開に向け、港湾管理者、保健衛生部局等と協議を行い、受入にあたっての方針や条件等を整理した上で、誘致活動を再開する。</li> <li>国際クルーズ再開後の沖縄への寄港再開を見据え、日本に支社のある国際クルーズで構成する日本国際クルーズ協会（JICC）と連携強化を図ることにより、クルーズの寄港再開を加速させる施策の策定等を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>港湾課管理者、保健衛生、観光部局において、感染症の専門家を交えて協議を行い、クルーズ船の受入方針、条件等をまとめた上で、寄港地の受入協議会にて合意形成を図り、令和4年6月に、コロナ禍後初の寄港再開を実現できた。</li> <li>国際クルーズの再開に向け、JICCの意見を踏まえた上で、国への要請を行い、日本における国際クルーズの早期再開を図ったほか、クルーズカンファレンスを実施し、日本における国際クルーズの受入再開に向けた機運醸成を図ったことにより、沖縄への早期寄港につながった。</li> </ul>

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	国際クルーズにおける感染防止ガイドラインが策定・公表されたことから、日本における外国籍による国際クルーズの受入が再開されることとなり、令和5年3月から再開されることとなった。	⑥ 変化に対応した取組の改善	新型コロナウイルスの影響により休止していた本部港への大型クルーズ船の寄港を令和4年度に再開。令和6年度は大規模な大型国際クルーズ船の寄港予定もあり、C I Q体制強化に向け関係機関との連携強化を図る。
② 他の実施主体の状況(内部要因)	国際クルーズの受入が再開されたが、これまで国際クルーズ船を受入れを行ってきた受入団体の人員不足、バス・タクシードライバー不足などの二次交通などの受入体制の課題が生じている。	② 連携の強化・改善	現在の受入のキャパシティでクルーズ船の受入の実績を重ねることにより、関係機関の情報共有、乗船下船の導線などソフト面での工夫・改善等を行い、人員増を含め、段階的に受入体制の強化を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	④観光消費額向上に資する新たな拠点形成や観光プログラムの創出
			施策の小項目名	○観光地形成促進地域制度の活用等による民間投資の促進
主な取組	観光地形成促進地域制度の活用促進		対応する成果指標	一人当たり観光消費額 (娯楽・入場費、宿泊費)
施策の方向	<p>・観光消費額の向上や滞在日数の延長を図るため、観光地形成促進地域制度の活用等により民間投資を促進させ、北部圏域で整備が進められる大規模テーマパーク事業計画など魅力ある民間観光施設の整備促進、雨天時・ボトム期・ナイトライフなど多様な観光ニーズに対応した付加価値の高い観光コンテンツの構築や、体験プログラムの開発に取り組みます。既存宿泊施設へのデジタル技術の導入やリノベーション等を促進させることで、高付加価値化等による収益最大化及び経営基盤の安定化を図るとともに、国内外の多様なニーズに対応可能な宿泊施設等の整備の促進に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>高い国際競争力を有する魅力ある観光地形成を図るため、沖縄振興特別措置法に基づいた観光地形成促進地域制度を活用し、国内外からの観光旅客に対応した観光関連施設の整備を促進する。</p>	<p>県</p>	計画策定、制度周知・広報活動	制度周知・広報活動、活用予定事業者への助言等の関与	
		観光地形成促進措置実施計画の認定件数(累計)		
		2件	2件(4件)	3件(7件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【 098-866-2077 】		関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/seibi/kankoutisokusinkeikaku.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/seibi/kankoutisokusinkeikaku.html</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	観光地形成促進地域推進事業			予算事業名	観光地形成促進地域推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	2,036	5,339	県単等	委託	5,109
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
制度活用促進に向けてワンストップ相談窓口や市町村、関係団体等と連携を図り、設備投資情報の収集やセミナー開催等の周知活動を実施した。				引き続き制度活用促進に向けて周知活動を実施するとともに、事業者からの制度申請手続の負担軽減のため、電子申請システムの導入を図る。		

活動指標名	観光地形成促進措置実施計画の認定件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		-件	-件	0件	2件	0.0%	やや遅れ

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

観光地形成措置実施計画の認定は、令和4年8月に改正された観光地形成促進計画に基づき新たに設けられた制度であり、周知には時間を要するため、申請件数が0となっているが、制度の周知広報や事業者向けの手引きの作成等により、今後の申請件数の増を見込んでいる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
ワンストップ相談窓口で企業への制度の周知と相談対応を行うほか、関係団体等に対して制度の周知を図るとともに、事業者向けの手引き、Q & A等を作成する。	ワンストップ相談窓口で企業への制度の周知と相談対応を行ったほか、関係団体等に対して制度の周知を図るとともに、事業者向けの手引き、Q & A等を作成した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	制度活用を促進するためこれまでの連携してきた関連団体等に加え、新たな連携先を模索し取組を強化する。	② 連携の強化・改善	引き続き観光関連団体や市町村の観光及び税務担当部署との連携を進め、さらに税理士会や金融機関等の協力を図り、周知活動を強化する。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	落ち込んだ国内旅行需要に顕著な回復が見られ、訪日外国人旅行需要にも段階的な回復が見込まれており、ポストコロナを見据えた観光ニーズに応える付加価値の高い民間観光施設の整備計画も進められている。	⑤ 情報発信等の強化・改善	設備投資に関心のある事業者等に広く周知し、沖縄観光の高付加価値等を図る観光関連施設の整備を促進していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	④観光消費額向上に資する新たな拠点形成や観光プログラムの創出
			施策の小項目名	○観光地形成促進地域制度の活用等による民間投資の促進
主な取組	民間観光関連施設の投資の促進		対応する成果指標	一人当たり観光消費額 (娯楽・入場費、宿泊費)
施策の方向	<p>・観光消費額の向上や滞在日数の延長を図るため、観光地形成促進地域制度の活用等により民間投資を促進させ、北部圏域で整備が進められる大規模テーマパーク事業計画など魅力ある民間観光施設の整備促進、雨天時・ボトム期・ナイトライフなど多様な観光ニーズに対応した付加価値の高い観光コンテンツの構築や、体験プログラムの開発に取り組みます。既存宿泊施設へのデジタル技術の導入やリノベーション等を促進させることで、高付加価値化等による収益最大化及び経営基盤の安定化を図るとともに、国内外の多様なニーズに対応可能な宿泊施設等の整備の促進に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
高い国際競争力を有する魅力ある観光地形成を図るため、沖縄振興特別措置法に基づいた観光地形成促進地域制度を活用し、国内外からの観光旅客に対応した観光関連施設の整備を促進する。	県	計画策定、制度周知・広報活動	制度周知・広報活動	
		特定民間観光関連施設の投資額 ※跡地利用施設など特殊要因を除く		
		561,000千円	702,000千円	842,000千円
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【 098-866-2077 】		関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/seibi/kankoutisokusinkeikaku.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/seibi/kankoutisokusinkeikaku.html</a>



様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	観光地形成促進地域推進事業			予算事業名	観光地形成促進地域推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	2,036	5,339	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	5,109
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
制度活用促進に向けてワンストップ相談窓口や市町村、関係団体等との連携を図り、設備投資情報の収集やセミナー開催等の周知活動を実施した。				引き続き制度活用促進に向けて周知活動を実施するとともに、事業者からの制度申請手続の負担軽減のため、電子申請システムの導入を図る。		

活動指標名	特定民間観光関連施設の投資額 ※跡地利用施設など特殊要因を除く		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	618,877千円	0千円	564,152千円	561,000千円	100.0%	順調	ワンストップ相談窓口で企業への制度の周知と相談対応を行ったほか、関係団体等に対して制度の周知を図るとともに、事業者向けの手引き、Q & A等を作成した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
観光地形成促進地域制度について、沖縄県MICE推進課ホームページへの掲載、事業者向けの一括相談窓口の設置等により、当制度の広報・周知に取り組んだ結果、特定民間観光関連施設の投資額の目標値を実績値が上回ったため。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
ワンストップ相談窓口で企業への制度の周知と相談対応を行うほか、関係団体等に対して制度の周知を図るとともに、事業者向けの手引き、Q & A等を作成する。	ワンストップ相談窓口で企業への制度の周知と相談対応を行ったほか、関係団体等に対して制度の周知を図るとともに、事業者向けの手引き、Q & A等を作成した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	制度活用を促進するためこれまでの連携してきた関連団体等に加え、新たな連携先を模索し取組を強化する。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	落ち込んだ国内旅行需要に顕著な回復が見られ、訪日外国人旅行需要も段階的な回復が見込まれており、ポストコロナを見据えた観光ニーズに応える付加価値の高い民間観光施設の整備計画も進められている。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	引き続き観光関連団体や市町村の観光及び税務担当部署との連携を進め、さらに税理士会や金融機関等の協力を図り、周知活動を強化する。
⑤ 情報発信等の強化・改善	設備投資に関心のある事業者等に広く周知し、沖縄観光の高付加価値等を図る観光関連施設の整備を促進していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施策	④観光消費額向上に資する新たな拠点形成や観光プログラムの創出
			施策の小項目名	○多様な観光ニーズに対応した付加価値の高い観光コンテンツの構築
主な取組	付加価値の高い観光コンテンツの開発		対応する成果指標	一人当たり観光消費額 (娯楽・入場費、宿泊費)
施策の方向				

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
民間事業者の実施する沖縄のソフトパワー(歴史、自然、文化等)を活用した観光コンテンツ開発を支援することにより、観光消費額の向上や滞在日数の延伸等、沖縄の抱える観光課題解決を図る。	県	付加価値の高い観光コンテンツ開発への支援		
		支援件数(累計)		
		3件	3件(6件)	3件(9件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業			予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助	40,626	105,607	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	100,037
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者15件を支援した。				沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者10件を支援する。		

活動指標名	支援件数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	3件	4件	8件	3件	100.0%	順調	沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを支援した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

民間事業者や地域観光協会等が実施する付加価値の高い観光コンテンツ開発を8件支援し、目標を達成した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>支援期間を1年から3年に延ばす。</li> <li>観光コンテンツの開発を検討している事業者に対し、観光コンテンツの開発に資するセミナーを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多彩で質の高いコンテンツ開発を促進するため、最長3年まで支援できるよう補助金要綱の改正を行った。</li> <li>補助事業者を含む観光関連事業者を対象に、観光コンテンツ開発に資するセミナーを実施した。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	多彩で質の高いコンテンツを開発を自走化させるためには、事業実施主体と地域との連携が必要である。	② 連携の強化・改善	事業実施主体の所在町村、地域観光協会等と連携し、持続可能なコンテンツ開発を行う必要がある。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施策	①ICTによる新たな観光体験の創出促進及び観光施設等における
			施策の小項目名	○新たなデジタル技術の活用による観光コンテンツの創出
主な取組	新たな技術を活用した観光コンテンツの開発		対応する成果指標	リアルタイムな情報をオープンデータ化して公開している観光施設数
施策の方向	・VR（仮想現実）・AR（拡張現実）等の新たなデジタル技術の活用により本県の文化や自然を深く体験・体感できる観光コンテンツの創出に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
民間事業者の実施する沖縄のソフトパワー(歴史、自然、文化等)を活用した観光コンテンツ開発を支援することにより、観光消費額の向上や滞在日数の延伸等、沖縄の抱える観光課題解決を図る。	県	新たな沖縄観光を体験できるコンテンツ開発への支援		
		支援件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業			予算事業名	沖縄観光コンテンツ開発支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助	40,626	105,607	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	100,037
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者15件を支援した。				沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う事業者10件を支援する。		

活動指標名	支援件数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	0件	1件	0.0%	大幅遅れ	沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光メニュー開発やMICEメニュー開発を行う民間企業等の自主的な取り組みを支援した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新たなデジタル技術を活用した観光コンテンツ開発の申請がなかったことにより大幅遅れとなっている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	補助事業を公募する段階で、「新たなデジタル技術を活用した観光メニュー」を事例として挙げ、申請を促している。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	「新・沖縄21世紀ビジョン実施計画」において「新たなデジタル技術を活用したコンテンツ開発の促進」を掲げていることを積極的に発信する必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	公募説明会等において、県が「新たなデジタル技術を活用した観光コンテンツの造成」を推進していることについて、詳細に説明することとする。



様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施策	①ICTによる新たな観光体験の創出促進及び観光施設等における
			施策の小項目名	○観光客が快適に過ごせる観光地の形成
主な取組	コンタクトレス決済端末機導入整備事業		対応する成果指標	リアルタイムな情報をオープンデータ化して公開している観光施設数
施策の方向	・観光客が快適に過ごせる観光地の形成のため、リアルタイムな観光地及び移動経路等における混雑回避に必要な情報の提供や、観光施設等におけるコンタクトレス決済の普及・促進、無料公衆無線LAN (Free-Wi-Fi)、施設情報のオープンデータ化等の環境整備に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
コンタクトレス決済端末機の普及促進を図るための導入支援として補助事業を実施した。	県,民間事業者	コンタクトレス決済端末機普及		
		コンタクトレス決済端末機普及件数(累計)		
		750件	700件(1,450件)	700件(2,150件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	コンタクトレス決済端末機導入整備事業			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助	32,967	41,200	主な財源	実施方法	当初予算額
				-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
コンタクトレス決済端末機の導入促進を図るため、補助事業を実施した。				本事業により作成した成功事例集を効果的に活用し、コンタクトレス化（キャッシュレス化）のメリットを伝えていくことにより、普及を図っていく。		

活動指標名	コンタクトレス決済端末機普及件数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	28件	413(441)	550(991)	750件		やや遅れ	550台のコンタクトレス決済端末機の導入補助を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値を達成できなかったものの、補助事業の実施により、観光消費額の向上に一定程度寄与したものと考えられる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
コンタクトレス決済端末機の普及には、補助事業は有効であるが、同時にコンタクトレス化（キャッシュレス化）のメリットも併せて伝えていく必要がある。	本事業において、端末機導入を行った事業者からの聞き取り等を基に、成功事例集を作成した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	事業者の中には、現金管理を望む意見もあるため、コンタクトレス化(キャッシュレス化)のメリットを伝えていくことにより、普及を図る必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	本事業により作成した成功事例集を効果的に活用し、コンタクトレス化(キャッシュレス化)のメリットを伝えていくことにより、普及を図っていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施策	①ICTによる新たな観光体験の創出促進及び観光施設等における
			施策の小項目名	○観光客が快適に過ごせる観光地の形成
主な取組	観光情報基盤構築事業		対応する成果指標	リアルタイムな情報をオープンデータ化して公開している観光施設数
施策の方向	・観光客が快適に過ごせる観光地の形成のため、リアルタイムな観光地及び移動経路等における混雑回避に必要な情報の提供や、観光施設等におけるコンタクトレス決済の普及・促進、無料公衆無線LAN (Free-Wi-Fi)、施設情報のオープンデータ化等の環境整備に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
公共交通や観光施設等の情報を統一的な基準により整備する。	県	観光基盤情報の収集整備		
		観光基盤情報の収集整備件数(累計)		
		200件	300件(500件)	300件(800件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	観光情報基盤構築事業			予算事業名	観光情報基盤構築事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	0	5,643	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	20,164
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
公共交通や観光施設等の情報を統一的な基準に基づき整備し、オープンデータとして継続的に利用できる環境を構築した。				観光客が必要とする公共交通機関や観光施設等の情報を整理するとともに、基盤となる公共交通機関や観光施設等の情報を統一的な様式の基に整備する。		

活動指標名	観光基盤情報の収集整備件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	0件	0件	382件	200件	100.0%	順調	宮古、八重山地区において観光ビーチ情報を収集する。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

観光基盤情報の収集整備は、宮古、八重山地区の観光ビーチ情報を収集することで、目標値を達成した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
アフターコロナや海外からのインバウンドの観光客の増加を踏まえ、オープンデータを活用した更なる観光情報基盤を構築する必要がある。	アフターコロナ後における空港等における観光客が必要とする公共交通機関や観光施設等の情報を整理するため、必要な予算を確保する。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	観光客が最初に訪れる那覇空港や交通結節点において、オープンデータを活用した観光2次交通などの観光情報をデジタルサイネージなどで分かりやすく表示出来る方法などを検証する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	那覇空港における観光客の移動手段などを分析したうえで、必要とする観光情報の整理やオープンデータを活用した情報発信の方法などの検討に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施策	②世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成
			施策の小項目名	○観光地におけるWi-Fi等の通信設備の整備等
主な取組	Be. OkinawaFreeWi-Fi通信機器調査及び検討業務事業		対応する成果指標	ワーケーションを目的とした来県者の割合
施策の方向	・観光地におけるWi-Fi等の通信設備、情報セキュリティ環境の整備に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
Be.OkinawaFreeWi-Fiの普及促進に取り組む。	県,民間事業者	Wi-Fi通信機器の整備普及促進		
		アクセスポイント件数(累計)		
		500件	500件(1,000件)	500件(1,500件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	<a href="http://be.okinawa.free.wifi.okinawaclip.com">http://be.okinawa.free.wifi.okinawaclip.com</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	Be. OkinawaFreeWi-Fi通信機器調査及び検討業務事業			予算事業名	Be. OkinawaFreeWi-Fi推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	32,966	2,693	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	25,764
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
同Wi-Fiの性能等に関する実態調査、協議会の開催を通じて、同Wi-Fiの利便性、有用性等の向上に関する検討等を行った。				集客キャンペーン、リダイレクトサイトリニューアル、協議会の開催等を行い、利便性、有用性、アクセスポイントの増加等に取り組む。		

活動指標名	アクセスポイント件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		△353 (4,760)	△1,029 (3,731)	△1,029 (3,731)	500件		大幅遅れ

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルス感染症の影響による事業者のコスト削減等により、アクセスポイントは減少となっている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
Be. OkinawaFreeWi-Fiが繋がりにくいという意見が一部寄せられているため、実態調査を実施する必要がある。	実態調査を行い、原因の究明（推測を含む）を行った。



様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少したアクセスポイント数について、持続可能な回復・増加に向けた取組を行う必要がある。	⑧ その他	Be.OkinawaFreeWi-Fiの指定事業者、導入事業者、利用者にとってメリットのあるWi-Fi制度となるよう集客キャンペーン、サイトリニューアル、協議会の開催等に取り組んでいく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施策	②世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成
			施策の小項目名	○デスティネーションとしての沖縄の認知度向上や誘客活動の展開
主な取組	デスティネーションとしての沖縄の認知度向上に向けた取組		対応する成果指標	ワーケーションを目的とした来県者の割合
施策の方向	・本県の優位性・差別化要素を構築し、デスティネーションとしての沖縄の認知度向上を図るとともに、送り手となる企業やワーケーションに関心がある個人事業主等に対する誘客活動に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県外企業等向けに沖縄ワーケーションを促進するプロモーションを行う	県	ワーケーションデスティネーションとしての沖縄の認知度向上		
		プロモーション回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄ワーケーション促進事業			予算事業名	沖縄ワーケーション促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	その他	47,185	46,853	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	その他	32,307
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
国内観光客の増加、滞在日数の延伸及び来訪時期の平準化を図ることを目的に、県外企業等向けに沖縄ワーケーションを促進するプロモーションを行う。				国内観光客の増加、滞在日数の延伸及び来訪時期の平準化を図ることを目的に、県外企業等向けに沖縄ワーケーションを促進するプロモーションを行う。		

活動指標名	プロモーション回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	-回	2回	2回	100.0%	順調	デスティネーションとしての沖縄の認知度向上に向けたプロモーションを実施する。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

プロモーションについては、関係者の招聘、イベントへの出展など、年間を通じ、様々なプロモーションを実施した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
ワーケーションについては、全国的に各自治体においても推進していることから、沖縄の強みを活用したワーケーションを訴求することが必要である。	他地域と差別化を図るため、ウェルネスやウェルビーイングなど、沖縄の強みを活かしたプロモーションを検討する。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	観光誘客の新たな切り口であるワーケーションについては、ウェルネスなど、沖縄の強みを活かしたプロモーションを実施するとともに、企業の課題に沿ったワーケーションの提案に取り組む。	⑤ 情報発信等の強化・改善	沖縄におけるワーケーションについては、他地域と差別化を図る為ウェルネスやウェルビーイングなど沖縄の強みを活かしたプロモーションを実施し企業の課題を把握の上、沖縄でのワーケーションを提案する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施策	②世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成
			施策の小項目名	○デスティネーションとしての沖縄の認知度向上や誘客活動の展開
主な取組	企業や個人事業主等に対する誘客の取組		対応する成果指標	ワーケーションを目的とした来県者の割合
施策の方向	・本県の優位性・差別化要素を構築し、デスティネーションとしての沖縄の認知度向上を図るとともに、送り手となる企業やワーケーションに関心がある個人事業主等に対する誘客活動に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県外企業等向けに沖縄ワーケーションを促進するプロモーションを行う。	県	企業やワーケーションに関心のある個人事業主等に対する誘客プロモーション		
		プロモーション回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	沖縄ワーケーション促進事業			予算事業名	沖縄ワーケーション促進事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
一括交付金 (ソフト)	その他	47,185	46,853	主な財源	実施方法	当初予算額	
				一括交付金 (ソフト)	その他	32,307	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
国内観光客の増加、滞在日数の延伸及び来訪時期の平準化を図ることを目的に、県外企業等向けに沖縄ワーケーションを促進するプロモーションを行う。				国内観光客の増加、滞在日数の延伸及び来訪時期の平準化を図ることを目的に、県外企業等向けに沖縄ワーケーションを促進するプロモーションを行う。			
活動指標名	プロモーション回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	-回	-回	2回	2回	100.0%	順調	デスティネーションとしての沖縄の認知度向上に向けたプロモーションを実施する。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
プロモーションについては、関係者の招聘、イベントへの出展など、年間を通じ、様々なプロモーションを実施した。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和4年度の取組改善案				反映状況			
ワーケーションについては、全国的に各自治体においても推進していることから、沖縄の強みを活用したワーケーションを訴求することが必要である。				他地域と差別化を図るため、ウェルネスやウェルビーイングなど、沖縄の強みを活かしたプロモーションを検討する。			

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	観光誘客の新たな切り口であるワーケーションについては、ウェルネスなど、沖縄の強みを活かしたプロモーションを実施するとともに、企業の課題に沿ったワーケーションの提案に取り組む。	⑤ 情報発信等の強化・改善	沖縄におけるワーケーションについては、他地域と差別化を図る為ウェルネスやウェルビーイングなど沖縄の強みを活かしたプロモーションを実施し企業の課題を把握の上、沖縄でのワーケーションを提案する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施策	③データを活用した戦略的なマーケティングの推進
			施策の小項目名	○ターゲットマーケティングへの変換
主な取組	DX観光客動態調査事業		対応する成果指標	国内・国外観光客の行動歴・販売データのサンプル件数
施策の方向	<p>・国内・国外観光客の行動歴、購買データ等のデータの収集方法を検討し、観光ビッグデータの構築に取り組むことにより、高付加価値な観光コンテンツの創出や本県が求める観光客の誘致など、エビデンスに基づいた観光消費額の向上や滞在日数の延長につながるターゲットマーケティングへの転換を図ります。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
観光客の行動歴等を調査・分析することでそのニーズを把握し、誘客プロモーションなどのターゲットマーケティングの展開に繋げる。	県	行動歴等データの利活用		
		観光客の行動歴データ件数(累計)		
		30,000件	30,000件(60,000件)	30,000件(90,000件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光政策課 【 098-866-2763 】		関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/kikaku/report/inbound_survey_report/r4_dx_tourist_dynamic_survey.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/kikaku/report/inbound_survey_report/r4_dx_tourist_dynamic_survey.html</a>



様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	DX観光客動態調査事業			予算事業名	DX観光客動態調査事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
一括交付金 (ソフト)	委託		14,998	主な財源	実施方法	当初予算額	
				一括交付金 (ソフト)	委託	14,965	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
観光客の携帯電話のGPS位置情報等を利用して、観光客が訪れた観光地や観光ルート、滞在先などの行動歴等を属性別、季節毎に調査分析を行った。				観光客の携帯電話のGPS位置情報等を利用して、観光客が訪れた観光地や観光ルート、滞在先などの行動歴等を属性別、季節毎に調査分析を行う。			
活動指標名	観光客の行動歴データ件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	62,626件	30,000件	100.0%	順調	携帯電話のGPS位置情報データとして、スマートフォンのアプリから3万件以上のデータを収集する。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
キャリアフリーであるスマートフォンアプリからGPS位置情報データを収集したことにより目標値を達成できた。また、収集したデータを調査分析することにより、ターゲットマーケティングへの展開に繋がった。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和4年度の取組改善案				反映状況			
-				観光客の動態調査を基礎的動態調査と着目動態調査に分類し、着目動態調査については観光収入の増に繋がりそうな観光客の特性 (富裕層、長期滞在者など) に着目して9項目の分析軸を設定し、訴求ポイントを整理した。			

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	ターゲットマーケティングの展開に繋げるため、訴求ポイントや分析軸を整理する必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	関係機関に対し事前にヒアリングを実施し、訴求ポイントや分析軸を整理する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施策	③データを活用した戦略的なマーケティングの推進
			施策の小項目名	○ターゲットマーケティングへの変換
主な取組	観光客の購買データ利活用		対応する成果指標	国内・国外観光客の行動歴・販売データのサンプル件数
施策の方向	<p>・国内・国外観光客の行動歴、購買データ等のデータの収集方法を検討し、観光ビッグデータの構築に取り組むことにより、高付加価値な観光コンテンツの創出や本県が求める観光客の誘致など、エビデンスに基づいた観光消費額の向上や滞在日数の延長につながるターゲットマーケティングへの転換を図ります。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
購買データを活用するためのデータサンプルを確保する。	県,民間事業者	購買データの利活用		
		購買データのサンプル件数(累計)		
		50件	500件(550件)	500件(1,050件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	コンタクトレス決済端末機導入整備事業			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助	32,967	41,200	主な財源	実施方法	当初予算額
				-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
コンタクトレス決済端末機の導入促進を図るため、補助事業を実施した。				本事業により作成した成功事例集を効果的に活用し、コンタクトレス化（キャッシュレス化）のメリットを伝えていくことにより、普及を図っていく。		

活動指標名	購買データのサンプル件数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-	-	241件	50件	100.0%	順調	コンタクトレス決済端末機導入整備事業を通じて241台の購買データサンプルを確保できた。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標を大きく上回るサンプル数の確保ができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
DX推進の基盤となるコンタクトレス化（キャッシュレス化）の普及を加速させるため、導入支援を実施する必要がある。	コンタクトレス決済端末機導入整備事業を通じて、導入支援を実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	事業者の中には、現金管理を望む意見もあるため、コンタクトレス化(キャッシュレス化)のメリットを伝えていくことにより、普及を図る必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	本事業により作成した成功事例集を効果的に活用し、コンタクトレス化(キャッシュレス化)のメリットを伝えていくことにより、普及を図っていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施策	③データを活用した戦略的なマーケティングの推進
			施策の小項目名	○ターゲットマーケティングへの変換
主な取組	観光客の路線バス乗降データの利活用		対応する成果指標	国内・国外観光客の行動歴・販売データのサンプル件数
施策の方向	<p>・国内・国外観光客の行動歴、購買データ等のデータの収集方法を検討し、観光ビッグデータの構築に取り組むことにより、高付加価値な観光コンテンツの創出や本県が求める観光客の誘致など、エビデンスに基づいた観光消費額の向上や滞在日数の延長につながるターゲットマーケティングへの転換を図ります。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
公共交通のコンタクトレス決済端末導入に係る実証実験を行う。	県,民間事業者	観光客の路線バス乗降データの利活用		
		乗降データのサンプル件数(累計)		
		100件	500件(600件)	1,000件(1,600件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	観光2次交通機能強化事業			予算事業名	観光2次交通利用促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	52,060	28,821	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	補助	30,175
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
観光客の県内移動の利便性向上を図るため、公共交通のコンタクトレス決済端末導入に係る実証実験等、観光2次交通の機能強化に関する取組を行う。				免許を持たない観光客等の観光2次交通を確保するため、繁忙期において交通事業者等が行う観光2次交通の確保に要する経費に対し補助金を交付する。		

活動指標名	乗降データのサンプル件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	0件	0件	100件	100件	100.0%	順調	コンタクトレス決済の実証実験を実施することで路線バス乗降データを取得できた。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

コンタクトレス決済の実証実験で得た路線バス乗降データを活用し、新規事業の立案・執行に繋げることが出来た。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
コンタクトレス決済（非接触型決済）の普及については、国内に比べ、海外での普及が高いため、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、海外からのインバウンド観光客を対象とした実証実験が出来なかった。	新型コロナウイルス感染症の影響による海外からのインバウンド観光客の動向が不明のため、令和5年度において、県によるコンタクトレス決済（非接触型決済）の実証事業を見送ることとなったものの、免許を持たない観光客の2次交通を確保する施策を検討する必要がある。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	国際線の復便や免許を持たない観光客が増加することもが見込まれるため、レンタカーに頼らない沖縄観光を提案するためには、市町村や民間事業者が行う観光2次交通の確保に対する支援が必要である。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	令和5年度から、新規事業として、繁忙期において、市町村や民間事業者が行う観光2次交通の確保に要する経費に対し、補助金を交付する事業を実施する。



様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施策	④観光二次交通の利便性向上及び利用促進
			施策の小項目名	○ICTを活用した新たなサービス創出の促進
主な取組	観光2次交通機能強化事業		対応する成果指標	旅行中に利用した公共交通機関の割合
施策の方向	<p>・国内外から来訪する観光客の二次交通の利便性及び満足度の向上を図るためには、観光客が最適なモビリティの情報を収集し、かつ容易に利用できる環境が必要です。このため、民間が取り組むMaaSやCASE等の基盤となる公共交通情報等のオープンデータを継続的に利用できる環境の構築・維持や、公共交通におけるコンタクトレス決済の普及に取り組む、ICTを活用した新たなサービスの創出を促進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
公共交通のコンタクトレス決済端末導入に係る実証実験を行う。	県	公共交通機関のコンタクトレス決済の導入支援		
		公共交通機関のコンタクトレス決済の導入件数(累計)		
		4件	2件(6件)	2件(8件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	観光2次交通機能強化事業			予算事業名	観光2次交通利用促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	52,060	28,821	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	補助	30,175
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
観光客の県内移動の利便性向上を図るため、公共交通のコンタクトレス決済端末導入に係る実証実験等、観光2次交通の機能強化に関する取組を行う。				免許を持たない観光客等の観光2次交通を確保するため、繁忙期において交通事業者等が行う観光2次交通の確保に要する経費に対し補助金を交付する。		

活動指標名	公共交通機関のコンタクトレス決済の導入件数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	0件	0件	3件	4件	75.0%	概ね順調	コンタクトレス決済の実証実験を実施することで路線バスの利用促進に向けた利便性向上に取り組んだ。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

前年度に引き続き、今年度においても新型コロナウイルス感染症の影響の中、3社14路線において実証事業を実施し、実証後においても、民間事業者による自走化に繋がった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
コンタクトレス決済(非接触型決済)の普及については、国内に比べ、海外での普及が高いため、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、海外からのインバウンド観光客を対象とした実証実験が出来なかった。	新型コロナウイルス感染症の影響による海外からのインバウンド観光客の動向が不明のため、令和5年度において、県によるコンタクトレス決済(非接触型決済)の実証事業を見送ることとなったものの、免許を持たない観光客の2次交通を確保する施策を検討する必要がある。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	国際線の復便や免許を持たない観光客が増加することもが見込まれるため、レンタカーに頼らない沖縄観光を提案するためには、市町村や民間事業者が行う観光2次交通の確保に対する支援が必要である。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	令和5年度から、新規事業として、繁忙期において、市町村や民間事業者が行う観光2次交通の確保に要する経費に対し、補助金を交付する事業を実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施策	④観光二次交通の利便性向上及び利用促進
			施策の小項目名	○ICTを活用した新たなサービス創出の促進
主な取組	観光基盤情報の収集・整備		対応する成果指標	旅行中に利用した公共交通機関の割合
施策の方向	<p>・国内外から来訪する観光客の二次交通の利便性及び満足度の向上を図るためには、観光客が最適なモビリティの情報を収集し、かつ容易に利用できる環境が必要です。このため、民間が取り組むMaaSやCASE等の基盤となる公共交通情報等のオープンデータを継続的に利用できる環境の構築・維持や、公共交通におけるコンタクトレス決済の普及に取り組む、ICTを活用した新たなサービスの創出を促進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
公共交通や観光施設等の観光基盤情報の収集・整備を行う。	県	公共交通や観光施設等の観光基盤情報の収集・整備		
		観光基盤情報の収集整備件数(累計)		
		200件	300件(500件)	300件(800件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	観光情報基盤構築事業			予算事業名	観光情報基盤構築事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	0	5,643	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	20,164
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
公共交通や観光施設等の情報を統一的な基準に基づき整備し、オープンデータとして継続的に利用できる環境を構築した。				観光客が必要とする公共交通機関や観光施設等の情報を整理するとともに、基盤となる公共交通機関や観光施設等の情報を統一的な様式の基に整備する。		

活動指標名	観光基盤情報の収集整備件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	0件	0件	382件	200件	100.0%	順調	宮古、八重山地区において観光ビーチ情報を収集した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

観光基盤情報の収集整備は、宮古、八重山地区の観光ビーチ情報を収集することで、目標値を達成した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
アフターコロナや海外からのインバウンドの観光客の増加を踏まえ、オープンデータを活用した更なる観光情報基盤を構築する必要がある。	アフターコロナ後における空港等における観光客が必要とする公共交通機関や観光施設等の情報を整理するため、必要な予算を確保する。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	観光客が最初に訪れる那覇空港や交通結節点において、オープンデータを活用した観光2次交通などの観光情報をデジタルサイネージなどで分かりやすく表示出来る方法などを検証する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	那覇空港における観光客の移動手段などを分析したうえで、必要とする観光情報の整理やオープンデータを活用した情報発信の方法などの検討に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施策	④観光二次交通の利便性向上及び利用促進
			施策の小項目名	○空港・港湾の観光拠点間の移動の円滑化
主な取組	県内で実施しているMaaSの観光客への周知		対応する成果指標	旅行中に利用した公共交通機関の割合
施策の方向	<p>・ 空港・港湾の観光拠点間の移動の円滑化を図るため、主要観光拠点を観光二次交通の交通結節点として位置付け、自動運転技術を活用した新たなモビリティや脱炭素の視点を踏まえた電気自動車（EV）等の次世代自動車、カーシェアリングの活用を検討など、多様なモビリティを活用したシームレスな乗り継ぎサービスの提供に取り組むとともに、既存公共交通機関の利便性向上、レンタカー貸渡拠点の分散化を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
観光客の公共交通利用促進を図るための周知を行う。	県	WEBサイトやデジタルサイネージ等を活用した情報発信		
		情報発信件数(累計)		
		2件	2件(4件)	2件(6件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	観光2次交通機能強化事業			予算事業名	観光2次交通利用促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	52,060	28,821	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	補助	30,175
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
観光客の公共交通利用促進を図るための周知を行った。				免許を持たない観光客等の観光2次交通を確保するため、繁忙期において交通事業者等が行う観光2次交通の確保に要する経費に対し補助金を交付する。		

活動指標名	情報発信件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		0件	0件	2件	2件	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

公共交通で沖縄観光を楽しむことを周知するWebサイトの開設するほか、リーフレットの作成、デジタルサイネージでの案内を行った。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
WEBサイトやデジタルサイネージ等を活用し、観光客に対して、公共交通の利用促進を図る取組を実施したものの、免許を持たない観光客等の観光2次交通を確保する必要がある。	免許を持たない観光客の2次交通を確保する施策を検討した。



様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	国際線の復便や免許を持たない観光客が増加することが見込まれるため、レンタカーに頼らない沖縄観光を提案するためには、市町村や民間事業者が行う観光2次交通の確保に対する支援が必要である。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	令和5年度から、新規事業として、繁忙期において、市町村や民間事業者が行う観光2次交通の確保に要する経費に対し、補助金を交付する事業を実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-エ	DXによる沖縄観光の変革	施策	④観光二次交通の利便性向上及び利用促進
			施策の小項目名	○空港・港湾の観光拠点間の移動の円滑化
主な取組	主要観光拠点の観光二次交通の交通結節点としての位置づけに向けた取組		対応する成果指標	旅行中に利用した公共交通機関の割合
施策の方向	・ 空港・港湾の観光拠点間の移動の円滑化を図るため、主要観光拠点を観光二次交通の交通結節点として位置付け、自動運転技術を活用した新たなモビリティや脱炭素の視点を踏まえた電気自動車（EV）等の次世代自動車、カーシェアリングの活用を検討など、多様なモビリティを活用したシームレスな乗り継ぎサービスの提供に取り組むとともに、既存公共交通機関の利便性向上、レンタカー貸渡拠点の分散化を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
観光2次交通結節点の設置に向けた取り組みを実施する。	県	市町村へのヒアリング	主要観光拠点の選定	
		ヒアリング実施団体数	基礎調査の実施	主要観光拠点の決定数
		3団体	基礎調査の完了	1箇所
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	観光2次交通結節点機能強化事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			県単等	委託	53,165
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年度活動内容年7月に策定した「第6次沖縄県観光振興基本計画」において、観光2次交通結節点を北谷町と位置付けた。				北谷町において、観光2次交通結節点の実証事業を実施する。		

活動指標名	ヒアリング実施団体数		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		0団体	0団体	3団体	3団体	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

関係団体等からヒアリングを実施するとともに、第6次沖縄県観光振興基本計画において、観光2次交通結節点を北谷町と位置付けることが出来た。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
第6次沖縄県観光振興基本計画において、観光2次交通結節点を北谷町と位置付けることが出来たことから、令和5年度から実証事業が出来るように準備を行う。	令和5年度の新規事業として、予算を要求する。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	観光2次交通結節点を北谷町と位置付けたことから、実証実験に必要な予算を向け、関係機関と調整する必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	令和5年度から、新規事業として、北谷町における観光2次交通結節点の可能性調査を含めた実証事業を実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施策	①MICE振興とビジネスツーリズムの推進
			施策の小項目名	○誘致やMICEブランドを踏まえたプロモーション等の展開
主な取組	OCVB等と連携した国内外での誘致活動強化		対応する成果指標	MICE開催による経済効果(直接効果)
施策の方向	<p>・離島も含めた全県的なMICEの振興を図るため、(一財)沖縄観光コンベンションビューローを中心とした誘致主体のマーケティング力や分析能力等を強化しつつ、MICE主催者のニーズを踏まえた誘致やMICEブランドを踏まえたプロモーション等に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国内有数の観光リゾート地である沖縄の魅力を活かし、企業ミーティングやインセンティブ旅行の誘致を行う。	県,OCVB	誘致プロモーション、商談会出展、セミナー開催		
		国内外の展示商談会等での商談件数(累計)		
		100件	230件(330件)	300件(630件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【 098-866-2077 】		関連URL	<a href="https://mice.okinawastory.jp/">https://mice.okinawastory.jp/</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業			予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	148,720	205,446	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	211,023
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
MICE商談会等を開催し、県内事業者とバイヤーとのマッチングを図った。				引き続きMICE商談会等への参加、開催することで、沖縄県へのMICE誘致を図る。		

活動指標名	国内外の展示商談会等での商談件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	実施	実施	71件	100件	71.0%	やや遅れ	新型コロナウイルス感染症の影響がある中、オンラインも活用した商談会を開催し、県内事業者とバイヤーとのマッチングを図った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルス感染症の影響によりMICE開催が制限される中、オンラインも活用した商談会を開催し、県内事業者とバイヤーのマッチングを図るなど、ポストコロナに向けた取組が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
新型コロナウイルス感染症の影響から比較的早期に回復が見込まれるインセンティブ旅行の誘致を図っていく。	商談会等に先立ち、商談アポイント先へ事前メールにより案件や要望について確認し、効果的な誘致を図る。 また、MICEナビ (※HP上で沖縄MICEコンテンツを幅広く紹介している) の情報更新を進め、誘致の営業ツールとして活用を図る。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染症について、令和4年10月から「国際的な人の往来再開に向けた措置」が大幅緩和され、海外からのインセンティブツアーが再開された。	② 連携の強化・改善	東京都と連携した海外プロモーションや世界有数のMICE見本市であるIBTMバルセロナ等でJNTOと共同プロモーションを図ることとしている。
		⑤ 情報発信等の強化・改善	MICEナビの情報更新頻度を高めるとともに、商談会、見本市へ積極的に参加し、沖縄の最新MICE情報を発信する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施策	①MICE振興とビジネスツーリズムの推進
			施策の小項目名	○誘致やMICEブランドを踏まえたプロモーション等の展開
主な取組	MICE開催実態調査		対応する成果指標	MICE開催による経済効果（直接効果）
施策の方向	<p>・離島も含めた全県的なMICEの振興を図るため、（一財）沖縄観光コンベンションビューローを中心とした誘致主体のマーケティング力や分析能力等を強化しつつ、MICE主催者のニーズを踏まえた誘致やMICEブランドを踏まえたプロモーション等に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内におけるMICE開催の実態調査を把握するため、主要MICE施設、ホテル、旅行会社を対象に開催状況調査を実施する。	県,OCVB	実態調査の実施・分析		
		県内主要MICE施設、ホテル、旅行会社を対象とした開催状況調査		
		実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【 098-866-2077 】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/h28mice-chousa.html	



様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業			予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	148,720	205,446	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	211,023
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内MICE関連施設や企業・団体に対して調査を行った。				従来調査している企業・団体に加えて新設されたホテルや会議施設があれば対象に追加して調査を行う。		

活動指標名	R4年度					進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		「沖縄MICE振興戦略」に基づく具体的施策の効果を検証し、今後のMICE施策推進の方向性や受入の取組を進める際の基礎資料とするため、県内におけるMICE開催実態の調査を実施した。
		実施	実施	実施	実施	100.0%	

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
MICEの受入可能性のある施設を有する企業・団体に対してMICE開催実態調査のアンケート調査を行った。回答率の低い離島地域においては直接事業者を訪問し協力を依頼するなど、回答率向上に向けた取組も順調に実施できた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
産学官で構成するMICE推進の中核組織である沖縄MICEネットワークなどの枠組みを活用し、県が実施する調査事業への理解を深めてもらうとともに、引き続き事業者負担を減らす方向での検討を行う。	沖縄MICEネットワークを活用するとともに、回答率の低い離島地域の施設に対しては、直接事業者を訪問し回答率の向上と調査事業への理解を促した。事業者が回答しやすい調査手法は引き続き検討する必要がある。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	MICEのうち、特にM, I, Eについては、実態の把握が難しく、本県のように定期的に調査を実施している地域は他にない。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	沖縄MICEネットワークを活用しながら、主要施設に対しては直接訪問し回答率の向上と調査事業への理解を促す。また事業者からの聞き取りを踏まえ、引き続き調査票作成の負担を減らす方向の検討を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリントウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施策	①MICE振興とビジネスツーリズムの推進
			施策の小項目名	○本県の優位性を生かしたMICEの開催・誘致に向けた支援
主な取組	MICE誘致・開催・歓迎支援の実施（インセンティブ、コンベンション）		対応する成果指標	MICE開催による経済効果（直接効果）
施策の方向	・OISTをはじめとする県内大学等と連携した学術会議の誘致や本県に比較優位のある情報通信関連、物流、航空関連等の産業分野と連携した展示会の開催など、本県の優位性を生かしたMICEの開催・誘致に向けた支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
MICE主催者等に対して開催経費の一部助成や空港等での開催歓迎支援を実施するほか、視察ツアーやMICE商談会を開催し、主催者、キーパーソン等を招聘し、沖縄のMICE開催環境をPRする。	県,OCVB	MICE誘致・需要回復支援		
		国内・国際会議件数(累計)		
		35件	56件(91件)	100件(191件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【 098-866-2077 】		関連URL	<a href="https://www.ocvb.or.jp/support/category:9">https://www.ocvb.or.jp/support/category:9</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業			予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	148,720	205,446	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	211,023
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
コンベンション主催者やインセンティブ主催者への助成、芸能団派遣等の開催歓迎支援等を実施した。				引き続きこれまで同様の支援等を実施のうえ、オフシーズン対策等を意図したメリハリのある支援のあり方を検討する。		

活動指標名	国内・国際会議件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		8件	1件	31件	35件	88.6%	概ね順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルス感染症の影響によりMICE開催が制限される中、学会を対象とした商談会やJCCBのコンベンションビューロー部会への参加により、ポストコロナを見据えた取組が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
ポストコロナにおいても、主催者の沖縄MICE開催の満足度が向上するように引き続き支援していく必要がある。	オフシーズン対策等を意図したメリハリのある支援のあり方を検討中。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	各種支援策の中で特にニーズの高い貸切バス等運行支援について、バスの確保に支障を来している。	⑥ 変化に対応した取組の改善	オフシーズン対策等を意図したメリハリのある支援のあり方を検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施策	①MICE振興とビジネスツーリズムの推進
			施策の小項目名	○主催者や参加者と開催地等を結び付ける取組の推進
主な取組	MICE振興にかかる普及啓発活動		対応する成果指標	MICE開催による経済効果(直接効果)
施策の方向	<p>・「安全・安心なMICE開催地」を実現する取組の国内外への発信とMICE開催によるビジネス機会や研究促進等の効果を最大化するため、主催者や参加者と開催地等を結び付ける取組を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
主催者や旅行事業者等が必要とする集約された情報をMICEナビへ掲載のうえ、当該情報を基に県、OCVB、県外・海外事務所が連携して情報発信を行う。	県,OCVB	OCVB、県外・海外事務所と連携した情報発信		
		MICE開催によるレガシー効果の国内外への発信		
		実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【 098-866-2077 】		関連URL	<a href="https://mice.okinawastory.jp/">https://mice.okinawastory.jp/</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業			予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	148,720	205,446	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	211,023
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
商談会や日頃の問い合わせ対応時にMICEナビを積極的に案内し、有効活用を図ったうえで、効果的に情報発信を行った。				引き続きMICEナビによる効果的に情報発信を行うとともに、ナビ情報内容や使い勝手について検討し、今後の改善を図る。		

活動指標名	MICE開催によるレガシー効果の国内外への発信		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		実施	実施	実施	実施		順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルス感染症の影響がある中、MICEナビの情報更新を進め、ポストコロナに向けた沖縄MICEの情報発信が図られたため。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
MICEナビの情報更新は適切に進められているものの、多言語ページを更新し、海外に向けても情報発信を強化していく必要がある。	多言語版のグーグル翻訳を活用する等により、多言語ページを更新することを検討している。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	本邦において、令和4年10月から国際的な人の往来再開に向けた措置が大幅緩和され、海外からのMICEも復調することが見込まれる。	⑤ 情報発信等の強化・改善	沖縄MICEの情報が集約されたMICEナビの情報を充実するとともに、ナビ情報の多言語化を図る。



様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施策	②マリンタウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備
			施策の小項目名	○MICEを中心とした魅力あるまちづくり
主な取組	大型MICE施設整備の推進		対応する成果指標	1,000人以上のMICE開催件数
施策の方向	<p>・マリンタウンMICEエリアにおいて大型MICE施設整備を推進するとともに、宿泊施設や集客施設等の立地促進や施設利用者の交通利便性の確保、オープンスペースの賑わいやスマートシティの形成など、MICEを中心とした魅力あるまちづくりに取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
既存施設では対応できない大型MICEの誘致を促進するため、多目的ホールや展示場、中小会議室等を備える施設の整備を行う。	県	基本計画、実施方針の策定及び特定事業の選定、事業者の公募選定等に向けた調整・検討		
		大型MICE施設整備の推進		
		実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【 098-866-2077 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	マリンタウンMICEエリア形成事業			予算事業名	マリンタウン大型MICE施設整備・エリア形成事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	30,684	38,530	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	43,315
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄県マリンタウンMICEエリア形成事業基本計画を策定し、公表した。				実施方針に関する条例の制定、実施方針の策定、特定事業の選定等のPFI法で定める所定の手続きを進めていく。		

活動指標名	大型MICE施設整備の推進		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		実施	実施	実施	実施	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄県マリンタウンMICEエリア形成事業基本計画の策定、公表を行い、PFI事業として実施する大型MICE施設整備の取組を進めた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況や、不動産市況、資材単価等の状況を注視しつつ、基本計画に基づく実施方針等の作成の検討を実施する。	資材高騰やアフターコロナにおけるMICE需要の状況を調査することで、施設整備費や運営収支を試算し、PFI事業としての実施方針の策定等を進めた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	競争性を確保し、社会・経済情勢を反映した、実施方針等を策定する必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	実施方針の策定等にあたり、公平性を担保し、事業への参画意欲の向上や事業内容の理解を深めるための取組を実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施策	②マリンタウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備
			施策の小項目名	○全県的なMICE受入体制整備の推進
主な取組	沖縄MICEネットワークを活用した連携強化		対応する成果指標	1,000人以上のMICE開催件数
施策の方向	<p>・産学官で構成する沖縄MICEネットワークを活用した連携強化に取り組み、会場やホテル等の施設間の協同による大型MICE案件の受入促進や、MICE主催者等のニーズを踏まえた基盤整備など、全県的なMICE受入体制の整備を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>全県的かつ産業横断的なMICE振興を図る観点から、大学、産業界、行政、各種団体が参画する沖縄MICEネットワークを設立し、部会、勉強会等を通して、県内事業者のスキルアップを図る。</p>	<p>県,OCVB</p>	MICEネットワーク運営・組織強化		
		沖縄MICEネットワークのネットワーク会員団体数(累計)		
		6団体(136団体)	6団体(142団体)	6団体(148団体)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【 098-866-2077 】		関連URL	<a href="https://www.okinawamicenetwork.jp">https://www.okinawamicenetwork.jp</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業			予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	148,720	205,446	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	211,023
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
MICE勉強会、MICEの誘致・受入体制の整備に係る部会等を開催した。会員相互の情報発信と共有のためWebニュースや機関紙を発行した。				MICE勉強会、MICEの誘致・受入体制の整備に係る部会等を開催し、会員相互の情報発信と共有のためWebニュースや機関紙を発行する。		

活動指標名	沖縄MICEネットワークのネットワーク会員団体数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		206団体	221団体	215団体	6団体 (136団体)	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県内事業者のMICEに関する知識の取得や誘致、受入に関する諸問題の解決のため、勉強会や部会を開催した。また会員相互の情報発信と共有のためWebニュースや機関紙を発行した。沖縄MICEネットワークには現在212団体が参加しており、全県的かつ産業横断的なMICE振興が図られている。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度の会費は1/3の一口5,000円へと減じ徴収した。</li> <li>令和4年度は総会、幹事会のうちリアルで行ったものもあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会費について、免除から一部負担になったが、会員数はそれほど変わらなかった。</li> <li>幹事会3回のうち1回と総会をリアル開催で行った。久々の対面開催のため、幹事、事務局から意見交換があった。令和3年度に作成した「サステナビリティガイドライン」が活用されなかったため、令和5年度は部会を立ち上げて活用することになった。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	令和4年度の入域観光客数がコロナ禍前(令和元年)に対して56.1%の回復をみせていることと、国内客、国外客ともに旅行需要の取込が期待されることから、会費の減額率を少し下げて徴収する。	⑥ 変化に対応した取組の改善	令和4年度の入域観光客数がコロナ禍前(令和元年)に対して56.1%の回復をみせていることと、国内客、国外客ともに旅行需要の取込が期待されることから、会費を2/3の10,000円で徴収する。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染症自粛の緩和により、総会(令和4年8月)と幹事会(令和5年3月)をリアル開催で行った。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	会費を一部負担へ変更したが、会員数はそれほど変わらなかった。おそらく会員でいることのメリットを感じてのことだと思われるが、もっと会員であることのメリットを感じることができる運営が必要。
		① 執行体制の改善	サステナビリティガイドラインが活用されなかったため、R5年度は部会を新設し「サステナビリティガイドライン」の運用促進について、検討と運営を図ることとなった。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施策	②マリンタウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備
			施策の小項目名	○全県的なMICE受入体制整備の推進
主な取組	MICE施設の管理・運営		対応する成果指標	1,000人以上のMICE開催件数
施策の方向	<p>・産学官で構成する沖縄MICEネットワークを活用した連携強化に取り組み、会場やホテル等の施設間の協同による大型MICE案件の受入促進や、MICE主催者等のニーズを踏まえた基盤整備など、全県的なMICE受入体制の整備を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
万国津梁館及び沖縄コンベンションセンターを指定管理制度により適正な維持・管理を行い、MICE等の誘致促進を図る。	県,OCVB	施設管理・運営		
		沖縄コンベンションセンター・万国津梁館の管理運営		
		実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【 098-866-2077 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄コンベンションセンター保全修繕事業費			予算事業名	沖縄コンベンションセンター保全修繕事業費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	9,791	825	主な財源	実施方法	当初予算額
令和4年度活動内容				県単等	直接実施	10,957
沖縄コンベンションセンターの安全性や機能性確保に係る修繕や備品購入等を行った。				令和5年度活動計画		
沖縄コンベンションセンターの安全性や機能性確保に係る修繕や備品購入等を行う。				予算事業名	万国津梁館保全修繕事業費	
予算事業名	万国津梁館保全修繕事業費			R5年度		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	37,560	37,982	県単等	直接実施	45,129
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
万国津梁館の安全性や機能性確保に係る修繕や備品購入等を行う。また、立地する部瀬名岬の共用部等の管理を行う。				万国津梁館の安全性や機能性確保に係る修繕や備品購入等を行う。また、立地する部瀬名岬の共用部等の管理を行う。		

活動指標名	沖縄コンベンションセンター・万国津梁館の管理運営		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		実施	実施	実施	実施	100.0%	順調



様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により例年より催事件数は減少したが、指定管理制度により適正な管理・運営を行った結果、本施設を利用した国内外の会議を開催することができた。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度に引き続き、万国津梁館・沖縄コンベンションセンターの修繕計画に基づき、計画的な修繕を行い、MICE誘致等の活動を円滑に進める。</li> <li>令和3年度に引き続き、指定管理者を軸とした、県、OCVBの連携により、主催者に対し一括した対応となるよう体制を整え、中長期(3年~5年)のMICE計画があるイベント等を誘致していく。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインなど、感染症対策を前提とした施設利用を周知していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>修繕計画等に基づき、事前の催事調整により修繕等を行った。</li> <li>今後とも連携した体制で中長期のMICE計画があるイベント等を誘致していく。</li> <li>ガイドラインを作成し、主催者に感染症対策の周知を行った。</li> </ul>

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	催事に影響のない工事や短期間での修繕を優先しつつ、指定管理事業者と連携を図りながら修繕を行い、利用者の利便性につなげ、MICE誘致につなげる必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	指定管理者との連携のため、年に2回以上工事に関する連絡会議を開催し、催事への影響がないような修繕等を実施する。
⑤ 県民ニーズの変化(外部環境の変化)	現施設の維持管理では多様化したMICEの催事ニーズにあっていない設備等がある。特に学会等でオンラインとのハイブリット開催等が新しく出てきており、通信速度等の問題で新たな課題等が出てきている。	⑧ その他	維持管理修繕のみではなく、利用者の利便性に配慮した機能向上を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施策	③MICEを活用した関連産業の振興
			施策の小項目名	○高付加価値なMICEコンテンツや受入プログラムの開発等の促進
主な取組	MICE開催にむけた沖縄MICEブランドの構築・県内MICE関連事業者へのSDGsやDXなどの取組の推進		対応する成果指標	MICE開催による経済波及効果 (間接効果)
施策の方向	・国内外の競合地との差別化を図るため、沖縄MICEブランドの構築や安全・安心なMICE開催に向けて取り組むとともに、県内MICE関連事業者へSDGsやDXなど新たな取組を浸透させ、高付加価値なMICEコンテンツや受入プログラムの開発等を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国内外の競合地との差別化を図るため、沖縄MICEブランドの構築等に向けて取り組むとともに、県内MICE関連事業者へSDGsやDX等新たな取組を浸透させ、高付加価値なMICEコンテンツや受入プログラムの開発等を促進する。	県,OCVB	沖縄MICEブランドの普及啓発活動、SDGsなどの新たな社会的取組の推進		
		沖縄MICEブランドエッセンスを加味したMICE人材育成研修の実施回数(累計)		
		6回	6回(12回)	6回(18回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【 098-866-2077 】		関連URL	<a href="https://mice.okinawastory.jp/">https://mice.okinawastory.jp/</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 戦略的MICE誘致促進事業				予算事業名 戦略的MICE誘致促進事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	148,720	205,446	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	211,023
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>沖縄MICEブランド構築等に向け、県内MICE関連事業者のSDGsやDX等の取組を図るため、人材育成研修や専門アドバイザー派遣を実施した。</p>				<p>引き続き沖縄MICEブランド構築等に向けた人材育成研修や専門アドバイザーの派遣を実施する。</p>		

活動指標名	沖縄MICEブランドエッセンスを加味したMICE人材育成研修の実施回数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	-回	8回	6回	100.0%	順調	<p>沖縄MICEブランドの構築等に向け、県内MICE関連事業者へSDGsやDX等新たな取組を浸透させるため、オンラインセミナー6回、集合型研修2回、合計8回の研修を実施した。</p>

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>沖縄MICEブランドの構築等に向けた内容により、目標とする回数以上に人材育成研修を実施した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
-	<p>沖縄MICEブランドの構築等に向け、沖縄MICEネットワーク（産業部会）において、人材育成確保を目的として「沖縄MICE入門」パンフレットを更新のうえ、県内のMICE関連企業・団体で従事する者を対象に、MICEの基礎知識を身につけ、自社商品・サービスを打ち出せることを目的としたセミナーを複数回実施した。</p>

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	<p>MICE市場において、主催者ニーズが多様化し、MICE関連事業者に求められる能力、技能が拡大しており、特にSDGsやDX等に配慮したMICEプランの提供が必要となってきている。</p>	⑥ 変化に対応した取組の改善	<p>主催者ニーズやSDGs、DX等の新たな取組に対応した研修や専門アドバイザーの派遣により、県内のMICE関連事業者の質の向上を図り、沖縄MICEブランドの構築等を図る。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施策	③MICEを活用した関連産業の振興
			施策の小項目名	○MICE関連ビジネス展開の促進
主な取組	企業へのMICEビジネス機会の創出のための支援		対応する成果指標	MICE開催による経済波及効果 (間接効果)
施策の方向	・ 情報通信、物流関連、ものづくり、飲食・小売、サービスなど様々な事業者によるMICE関連ビジネスへの展開を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
MICE主催者等への誘致活動と産業界のMICE関連ビジネスへの取組を促進する。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	県,OCVB	MICE商談会の開催		
		独自開催MICE商談会での商談件数(累計)		
		150件	200件(350件)	250件(600件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【 098-866-2077 】		関連URL	<a href="https://mice.okinawastory.jp/">https://mice.okinawastory.jp/</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業			予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	148,720	205,446	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	211,023
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
MICEを経済成長のプラットフォームとして活用するための推進体制構築とMICE誘致、開催支援、関連する情報収集を実施した。□				引き続き、推進体制構築とMICE誘致、開催支援、関連する情報収集を実施する。□		

活動指標名	独自開催MICE商談会での商談件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	-件	362件	150件	100.0%	順調	県外(東京、大阪)において、県独自のMICEセミナー・商談会を開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルスの影響が残る中、県内事業者と県外バイヤーの効果的なビジネスマッチングを進めたうえで、県外で3年ぶりに対面形式によるセミナー・商談会の開催を実施したところ、目標を上回る商談件数を達成した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
県が独自に実施した商談会において、商談会の後半に帰ってしまうバイヤーが多く見られたので、県内事業者とバイヤーの事前マッチング等により、より多くの商談機会の確保を図る。	可能な限り県(受託事業者)でバイヤーへ事前ヒアリングし、県内事業者へ情報共有を図り、円滑なマッチングと商談機会の確保を図ることとしている。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	令和4年度は、県外で3年ぶりに対面形式でセミナー・商談会の開催を実施したが、今後はより一層商談会等のBtoBの機会確保が求められる。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	県独自商談会の時期について、県内事業者やバイヤーが参加しやすい時期について設定した。
		⑤ 情報発信等の強化・改善	MICEネットワークやMICEナビ等を活用して、県内事業者の商談会への参加等をより積極的に呼びかけていく。